

# モクレポ



○MOKUWELL HOUSE / MEC Industry株式会社 (鹿児島県)  
※ウッドデザイン賞2022最優秀賞 (農林水産大臣賞)

令和5年2月  
No.17

## 特集

- 2022年木材輸出実績
- 2022年木材輸入実績
- 消費税インボイス制度が始まります
- 林業従事者数は約4.4万人～2020年国勢調査～
- 第4期森林生態系多様性基礎調査データの公開
- アフリカ・コンゴ盆地における持続可能な熱帯林経営への支援

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

### 【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

# CONTENTS 令和5年2月号

- 特集**
- 1 2022年木材輸出実績
  - 2 2022年木材輸入実績
  - 3 消費税インボイス制度が始まります
  - 4 林業従事者数は約4.4万人～2020年国勢調査～
  - 5 第4期森林生態系多様性基礎調査データの公開
  - 6 アフリカ・コンゴ盆地における持続可能な熱帯林経営への支援

- 特集1  
特集2  
特集3  
特集4  
特集5  
特集6

## 01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数
- 2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積
- 3 木材産業の業況
- 4 USドル及びユーロ為替相場
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

- 基礎1  
基礎4  
基礎8  
基礎9  
基礎10  
基礎11

## 02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格
- 2 木材価格（農林水産統計）

- 価格1  
価格3

## 03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向
- 2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 5 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高
- 6 素材生産量
- 7 木材生産の産出額

- 需給1  
需給4  
需給5  
需給6  
需給7  
需給8  
需給9

## 04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額
- 2 木材輸出額
- 3 木材輸入額
- 4 木材輸入量
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 輸出入1  
輸出入2  
輸出入3  
輸出入4  
輸出入10

## 05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量
- 2 特用林産物の産出額
- 3 特用林産物の輸出入量
- 4 特用林産物の輸出額
- 5 中国からのしいたけ菌糸輸入量
- 6 きのこと類の卸売量・価格

- 特産1  
特産2  
特産3  
特産4  
特産7  
特産8

## 06 セミナー・イベント情報

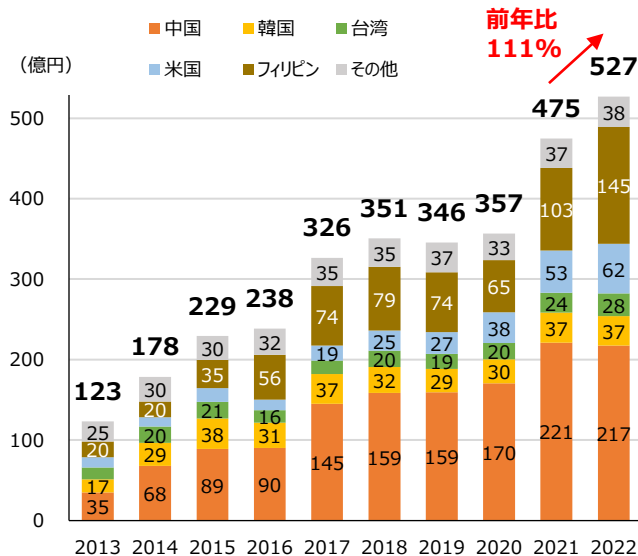
- 2月中旬以降の開催情報

- イベント1

# 特集-1 2022年木材輸出実績

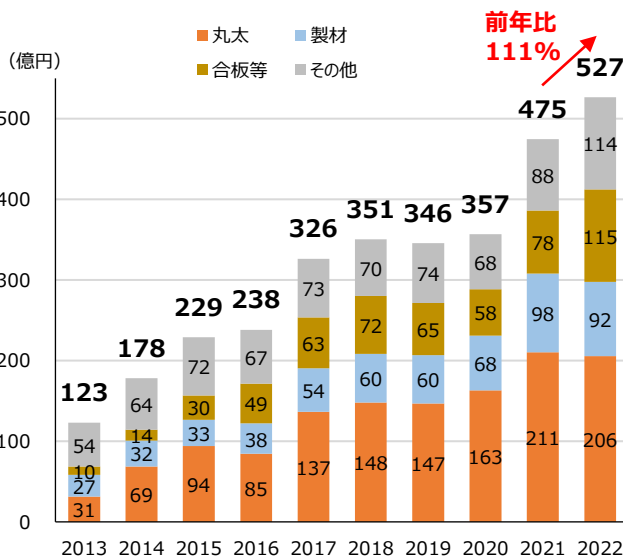
- 2022年の木材輸出額（HS44類）は、527億円（前年比111%）。品目別に見ると、4割を丸太が占めており、合板、製材と続いている。
- 一方、品目別の輸出量については、丸太が前年比91%、製材が同86%、合板等が同94%と減少。
- 今後更なる輸出の拡大に向けて、新しい需要開拓等を通じた、付加価値の高い製品の輸出拡大が必要。

## ■ 輸出相手国別木材輸出額



資料:「貿易統計」

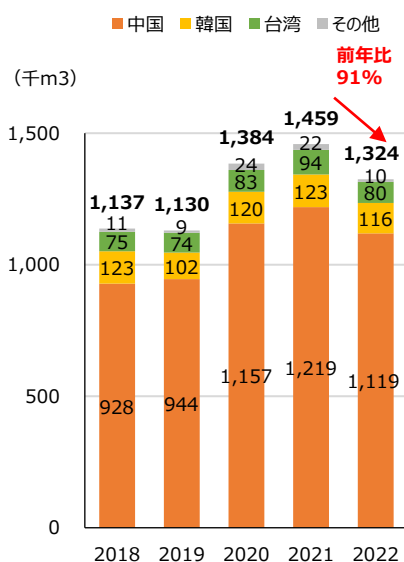
## ■ 輸出品目別木材輸出額



※製材には改良木材を、合板等にはLVLやパーティクルボード等を含む  
資料:「貿易統計」

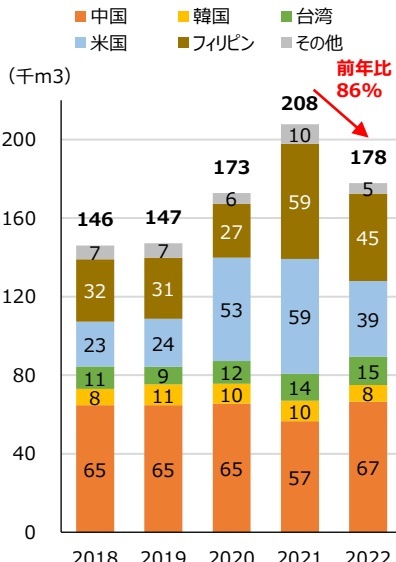
## ■ 品目別木材輸出量

### 丸太



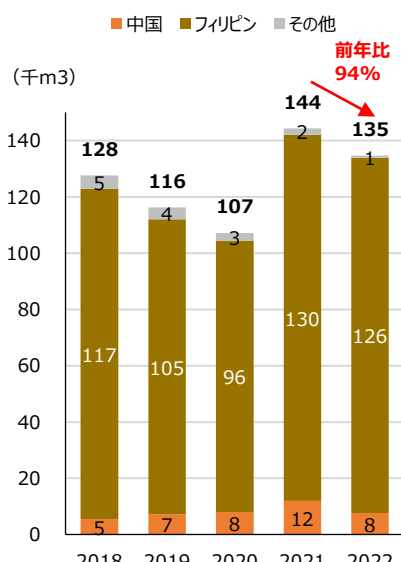
資料:「貿易統計」

### 製材



※製材には改良木材を含む

### 合板等



※合板等にはLVLやパーティクルボード等を含む

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。

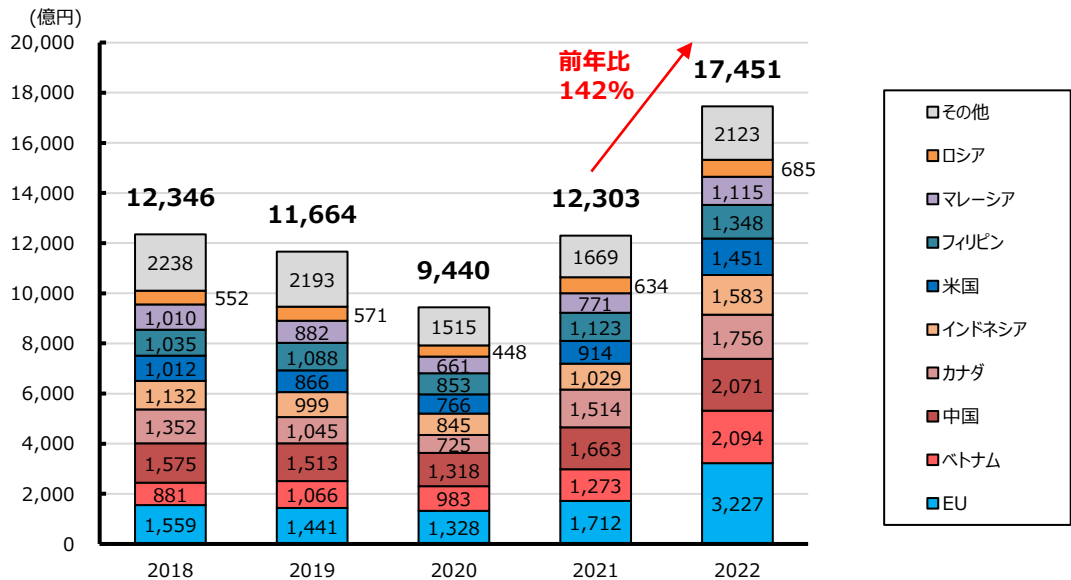
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



## 特集-2 2022年木材輸入実績

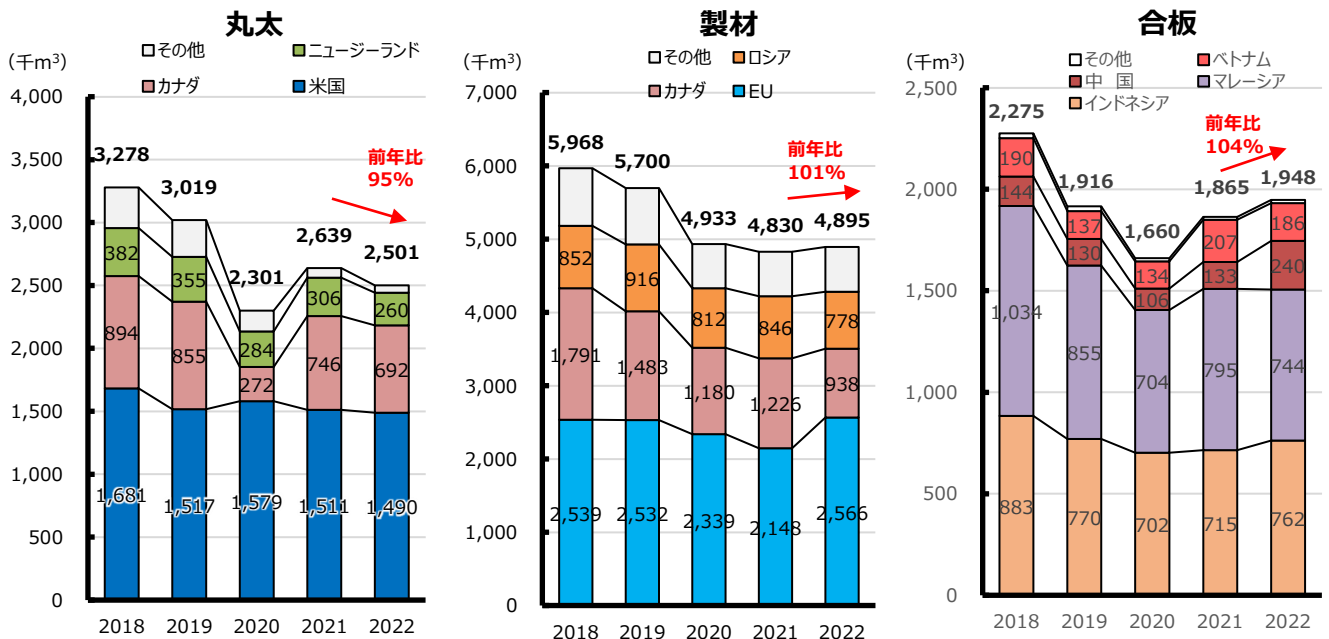
- 2022年の木材輸入額（HS44類）は、産地価格の高騰や、円安などの影響により1.75兆円（前年比142%）となり、2021年に引き続き2年連続で前年比増。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年比95%、製材が同101%、合板が同104%となった。

### 国別木材輸入額



資料:「貿易統計」(2022年は速報値)

### 品目別木材輸入量



※2022年2月のエクアドルの丸太輸入量は除外

※LVLやパーティクルボード等は含まない

資料:「貿易統計」(2022年は速報値)

2022年の木材輸入実績についての詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyu/attach/pdf/boueki-39.pdf>



- 消費税のインボイス制度が、複数税率下において適正な課税を確保する観点から、2023年10月1日より業種横断的に開始。
- 林野庁では、森林・林業・木材産業関係者の皆様に、制度をよくご理解いただき、それぞれの取引実態を踏まえて適切な準備を行っていただけるよう、説明会の開催や相談窓口を設置。

○ **インボイス制度（適格請求書等保存方式）のポイント**

- 消費税は、商品の販売やサービスの提供等の取引に対して広く公平に課される税であり、消費者が負担するが、納税は事業者が実施。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から、仕入れに係る消費税額を差し引いた額を納税（仕入税額控除）。
- 2023年10月1日から、事業者が仕入税額控除を行うためには、原則として、仕入先からインボイス（適格請求書）を交付してもらい、保存しておく必要。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが交付可能。（免税事業者はインボイスの交付不可）



納付する消費税額の計算方法

※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要

$$\text{売上げの消費税額 (売上税額)} - \text{仕入れや経費の消費税額 (仕入税額)} = \text{納付する税額 (納付税額)}$$

差し引く計算が  
仕入税額控除

仕入税額控除には  
インボイスの保存が  
必要

インボイスがなければ  
仕入税額控除できない※

※ 一定期間、経過措置が設けられています

消費税インボイス制度に関する全国ブロック別説明会開催及び参加者の募集について

【森林・林業・木材産業関係者向け】（参加無料）

森林・林業・木材産業の関係者の皆様に、制度をよくご理解いただき、それぞれの取引実態を踏まえて適切な準備を行っていただく一助となるよう、以下のとおり、林野庁主催でオンライン説明会を開催しますので、林野庁HPよりご確認の上、ぜひお申し込みください。

申込みは林野庁HP上の参加フォームから

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/zenkoku\\_setumei\\_invoice.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/zenkoku_setumei_invoice.html)

- 2023年2月14日～24日（現在開催中） オンライン形式（Webexを使用）
- 全国4ブロック×2回 計8回（各回2時間程度、定員1,000名（先着））  
①北海道・東北、②関東甲信越・東海北陸、③近畿・中国・四国、④九州・沖縄
- ※ 在住の都道府県のブロックでの説明会日時に都合がつかない等の場合は、他のブロックの説明会にお申し込みいただくことも可能です。
- 対象は、森林所有者、林業・木材産業関係の事業者・団体等、行政（市町村等）など（林野関係の方なら誰でもご参加可能です）
- 説明内容は、①インボイス制度全般、②林野関係の取引に関わる留意点と対応

説明会サイト



農林水産省  
サイト



林野庁のインボイス制度に関する相談窓口

林野庁企画課 03-3502-8111（内線6064）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）

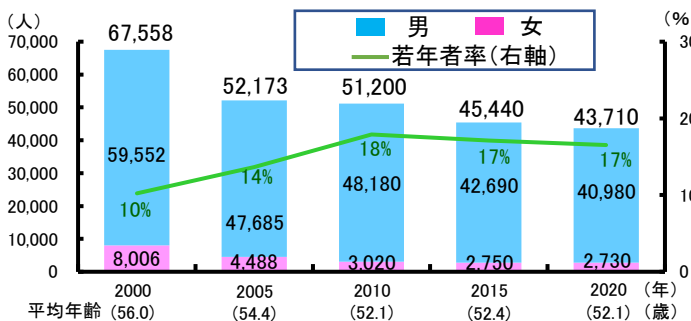
メールアドレス syouhizei\_rinya@maff.go.jp

# 特集-4 林業従事者数は約4.4万人～2020年国勢調査～

- 総務省は、2020年国勢調査（抽出詳細集計）を、2022年12月27日に公表。
- 林業従事者数は長期的には減少傾向にあるが、2015年から2020年にかけては横ばいに転じ43,710人（2015年比▲4%）。
- 若い方の就業が増加し、年齢構成の平準化が進展。特に伐木・造材・集材従事者で若返りが顕著。

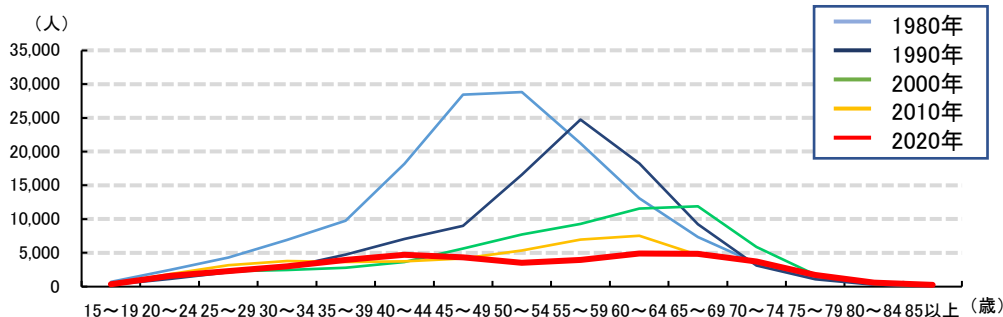
## ■ 林業従事者数の推移

- 林業従事者数は長期的には減少傾向にあるが、2015年から2020年にかけては横ばいに転じた。
- 若年者率は、全産業平均(2020年:23%)が減少傾向にある中、林業従事者は2000年から2010年にかけて上昇後、横ばいで推移。
- 平均年齢も全産業平均(2020年:48.0歳)が上昇する中、林業従事者は低下傾向で推移。



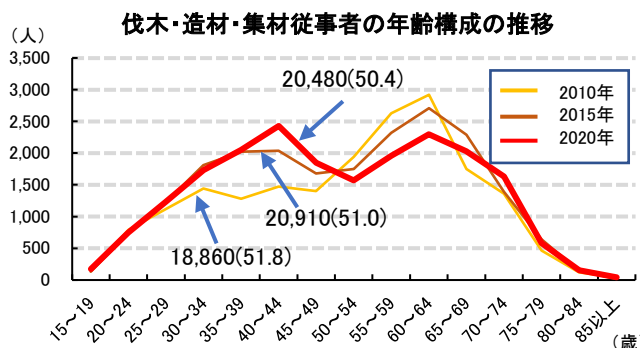
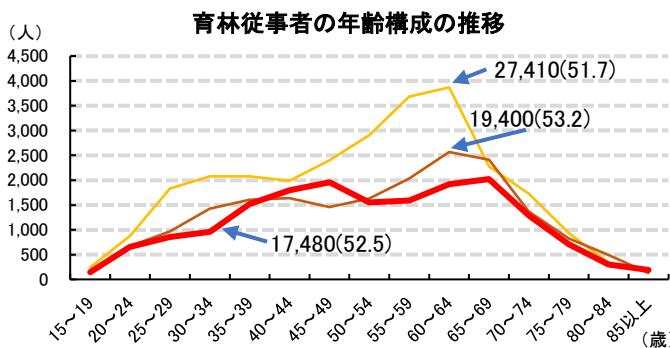
## ■ 林業従事者の年齢構成の推移

- 林業従事者を年齢階層別に見ると、1980年には45～54歳が多く、山型の分布であったが、徐々に山は低くなり、年齢層の平準化が進展。



## ■ 育林従事者と伐木・造材・集材従事者の年齢構成の推移

- 育林従事者(植付・下刈等)が17,480人に減少したが、2010年からの減少率を比較すると減少幅は低下。【2010年→2015年 ▲29%、2015年→2020年 ▲10%】
- 伐木・造材・集材従事者(素材生産)が20,480人となり、ほぼ横ばい。特に伐木・造材・集材従事者で若返りが顕著。【2010年→2015年 +11%、2015年→2020年 ▲2%】



※グラフ中の数字は当該年の従事者数。( )内の数字は平均年齢。

「林業労働力の動向」は、次のURLをご覧ください。

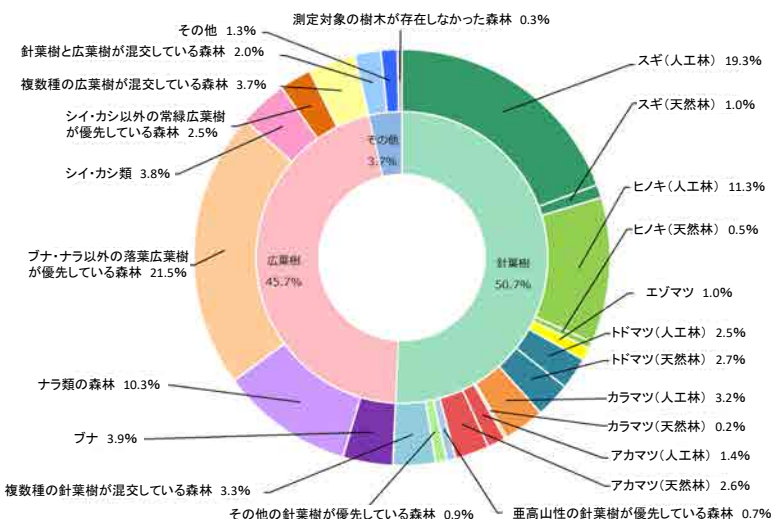
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/koyou/01.html>



- 森林生態系多様性基礎調査は、森林の状態とその動向を把握するため、全国统一した方法により、森林生態系に関する様々な調査を実施。
- 全国を4kmメッシュで区切り、その交点の森林(約1万5千点)について、5年間で全国を一巡するサイクルで、平成11年度より調査を開始。
- 2023年1月31日に、第4期(平成26年度~30年度)調査データを公開。

## 第4期調査結果の例

### 優先樹種による森林生態系タイプ区分



森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与。

森林の生物多様性を維持していくためには、森林生態系タイプの構成を把握し継続的にモニタリングしていく必要。

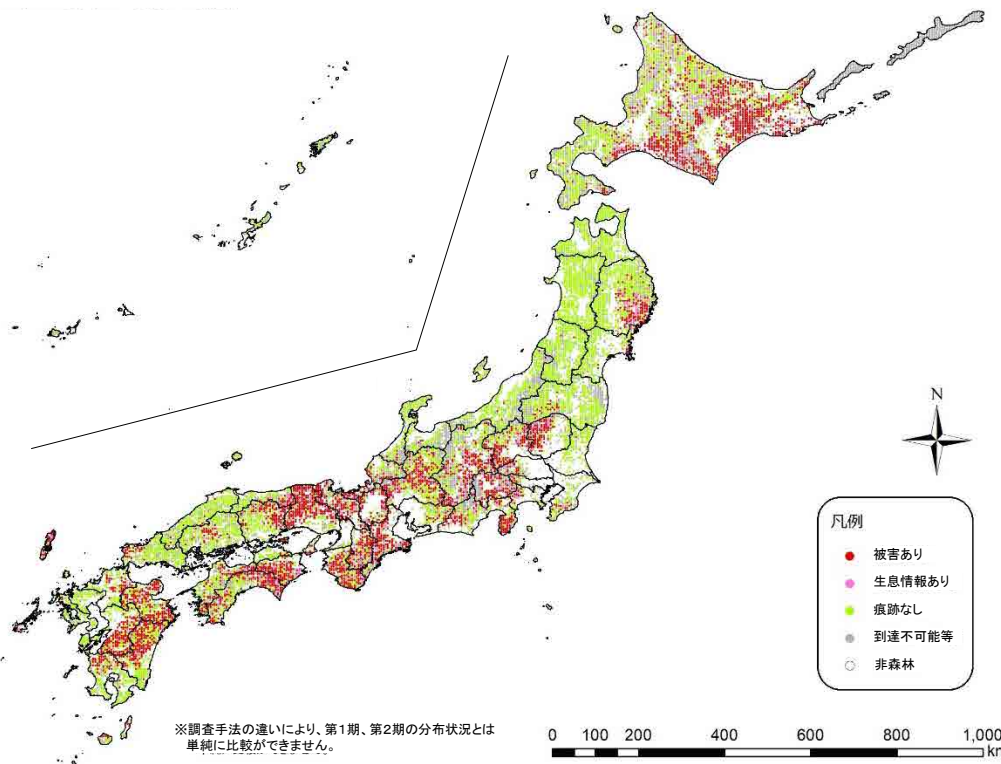
➤ 日本の森林は、「針葉樹が優先する森林」と「広葉樹が優先する森林」の割合がほぼ同程度であり、様々な森林生態系のタイプで構成されている。

### シカの確認状況

(第4期で被害等が確認された地点)

樹木の剥皮や食痕等(過去5年以内に新たに発生したと推定されるもの)が確認された調査点を記録している。

➤ 第3期(H21-25)から第4期(H26-30)にかけて、被害が確認された地点が増加しており、シカの分布域の拡大が森林生態系に影響を与えている。



※上記以外に、主な樹種の分布状況、森林に生育する植物数、土壌の状況などについても公開しています。また、学術研究等への活用のため、調査結果の詳細なデータも公開しています。

「森林生態系多様性基礎調査」の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/tayouseichousa/index.html>



- アフリカでは過去30年で森林の純減速度は増加し続けており、直近10年では年平均約393万haもの森林が減少(※1)。
- 2021年に英国グラスゴーで開催された第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)で公表された「コンゴ盆地の保護・持続可能な経営の支援に関する共同声明」に、我が国を含む12の国・地域・団体が参加するなど、世界中でコンゴ盆地に対する注目が高まっているところ。
- 林野庁は、JICA専門家の派遣や国際熱帯木材機関(ITTO)等の国際機関への拠出を通じて、同地域における持続可能な森林経営の推進を支援。

(※1)世界森林資源評価(FRA)2020より

## ■ コンゴ盆地の森林の重要性

- コンゴ盆地の森林は、南米・アマゾンに次ぐ世界で2番目に大きい熱帯雨林。そのため、気候変動緩和、生物多様性保全等に果たす役割が世界的に期待されている。加えて、同地域における持続可能な発展の基盤として、先住民や地域社会の生活や文化にとって極めて重要。

## ■ 林野庁からのJICA専門家派遣を通じた支援

林野庁は、コンゴ民主共和国環境・持続可能開発省に、次官付政策アドバイザー(森林・気候変動担当)として、2018年10月から専門家を派遣し、コンゴ盆地の環境政策を所掌する同省職員の能力強化等に取り組んできた。

- ① 森林ガバナンス支援：国家森林政策の策定プロセスや国家森林諮問委員会の設置・開催等、関連政策を実施していく上で基礎となる森林ガバナンス強化に向けた様々な支援を実施。
- ② REDD+政策支援：州レベルのREDD+統合プログラムの実施促進や気候変動枠組条約締約国会議(COP)へのコンゴ民政府代表団としての参加等を通じて、同国におけるREDD+活動、政策の推進を支援。
- ③ 泥炭保全支援：2017年のコンゴ民主共和国とコンゴ共和国の国境地帯での世界最大の熱帯泥炭地帯の発見を受け、国家泥炭会議の開催、基礎情報の収集分析、泥炭フラックスの観測に係る無償資金協力の案件形成等、その適切な保全管理の推進に向けた活動を支援。



泥炭土の調査



現地住民との集合写真

## ■ 国際熱帯木材機関(ITTO)への拠出を通じた支援

- 同地域においては、「合法性・持続可能性のあるサプライチェーン(Legal and Sustainable Supply Chains: 以下、LSSC)」分野の人材や技能不足が課題。
- ITTOは同地域5か国(※2)において、林野庁の拠出により、LSSCに関する認識向上や合法性確認に関する能力向上のための研修を実施。
- 同研修では、過去のプロジェクトで開発されたLSSC研修プログラムを活用し、LSSCに対する理解が向上。
- 合わせて、欧米諸国等の木材消費国における合法伐採木材に関する法規制や、GPSやバーコード等のトレーサビリティ技術等に関する知識を習得。
- LSSC実施のための能力と専門性が強化され、更に5か国以外の中央アフリカ諸国への普及が期待。



LSSC研修教材普及のため、コンゴ民主共和国で開催されたワークショップ

(※2)カメルーン、中央アフリカ共和国、ガボン、コンゴ共和国及びコンゴ民主共和国

次のURLも是非ご覧ください。

森林・林業分野の国際的取組：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/index.html>

国際熱帯木材機関(ITTO)：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyu/itto.html>



森林・林業分野の国際的取組

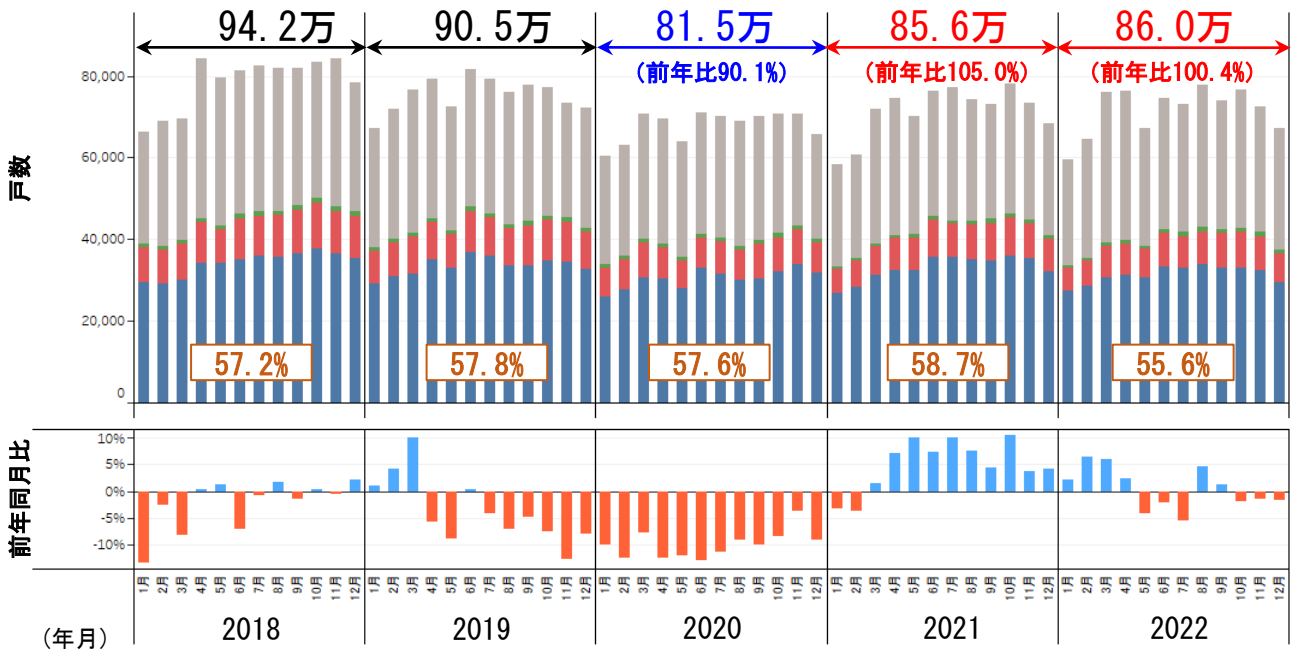


ITTO



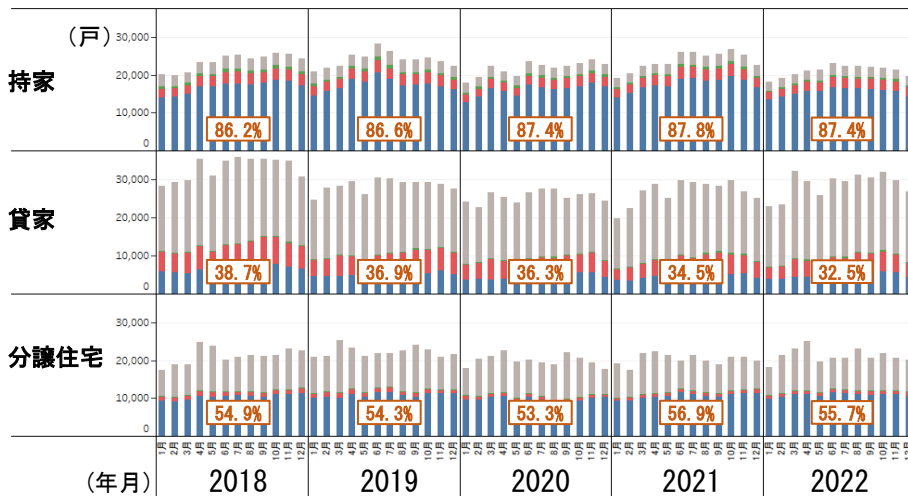
# 基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2022年1～12月の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年同期比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）。



（単位：戸）

構造別の着工戸数	2022年 1～12月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	859,529	856,484	100.4%	815,340	105.4%
■非木造	381,646	354,154	107.8%	346,045	110.3%
■木造	477,883	502,330	95.1%	469,295	101.8%
■木造プレハブ	10,144	10,509	96.5%	10,822	93.7%
■2×4	91,233	96,018	95.0%	93,009	98.1%
■在来軸組	376,506	395,803	95.1%	365,464	103.0%
□木造率	55.6%	58.7%		57.6%	



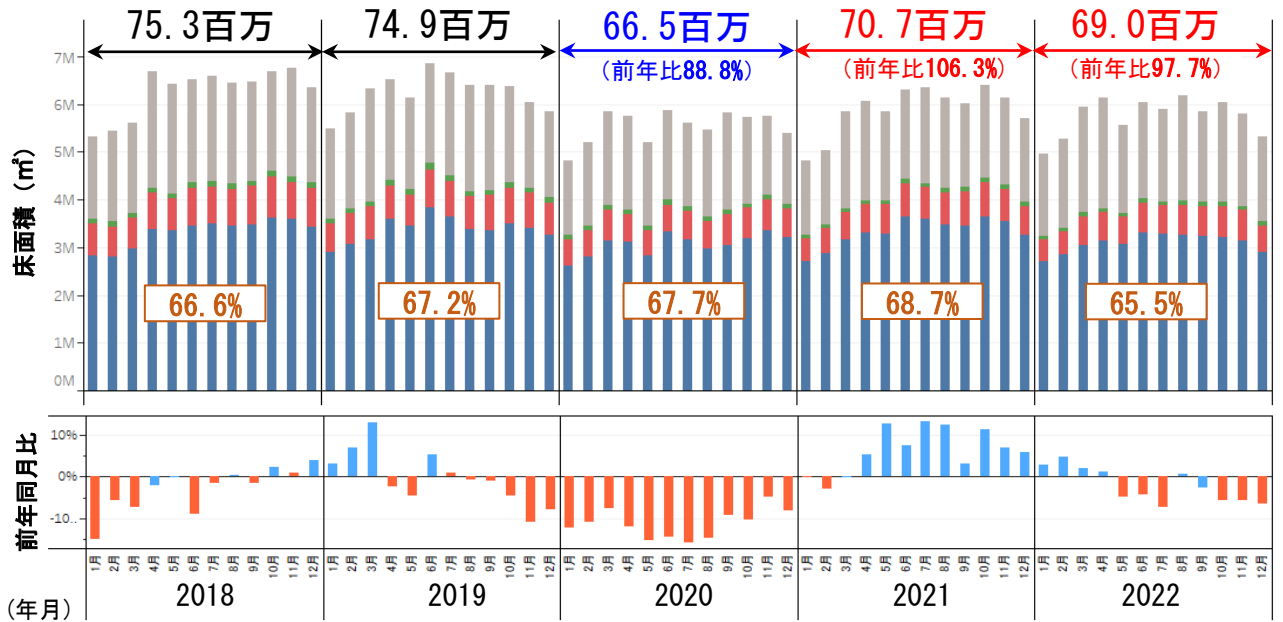
資料：国土交通省「住宅着工統計」





## 基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

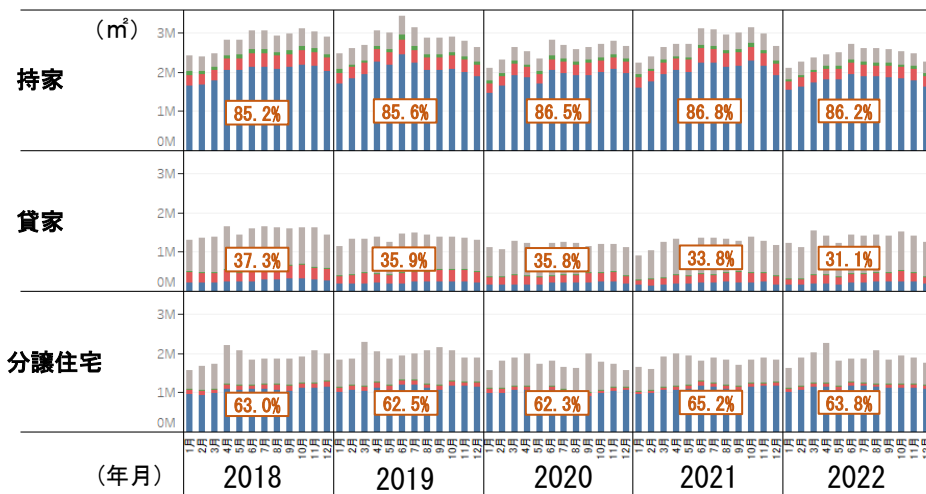
- 2022年1～12月の新設住宅着工床面積は、69.0百万㎡（前年同期比97.7%）、このうち木造住宅は45.2百万㎡（同93.0%）。



(単位：千㎡)

構造別の着工床面積	2022年1～12月	前年同期	前年同期比	前々年同期	前々年同期比
合計	69,010	70,666	97.7%	66,454	103.8%
■ 非木造	23,826	22,102	107.8%	21,463	111.0%
■ 木造	45,184	48,564	93.0%	44,991	100.4%
■ 木造プレハブ	1,004	1,070	93.8%	1,110	90.5%
■ 2×4	7,027	7,523	93.4%	7,111	98.8%
■ 在来軸組	37,153	39,972	92.9%	36,770	101.0%
□ 木造率	65.5%	68.7%		67.7%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」





<参考>非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
					前年比		前年比
2018年	1	3,930	93	309	102	3,621	92
	2	4,359	100	254	91	4,105	101
	3	4,131	117	280	93	3,851	120
	4	4,624	100	338	89	4,286	102
	5	4,193	93	316	91	3,877	93
	6	4,565	95	371	86	4,194	96
	7	4,958	109	372	94	4,585	110
	8	4,204	89	366	87	3,837	89
	9	4,423	93	449	95	3,974	93
	10	4,602	97	412	88	4,189	98
	11	4,151	93	378	93	3,773	93
	12	4,293	115	359	103	3,934	117
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2018年計		52,433	99	4,204	92	48,226	100
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2018年	第1四半期	12,420	103	843	95	11,577	103
	第2四半期	13,382	96	1,025	89	12,357	97
	第3四半期	13,585	97	1,187	92	12,396	97
	第4四半期	13,046	101	1,149	94	11,896	102
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

## 基礎的指標-3 木材産業の業況

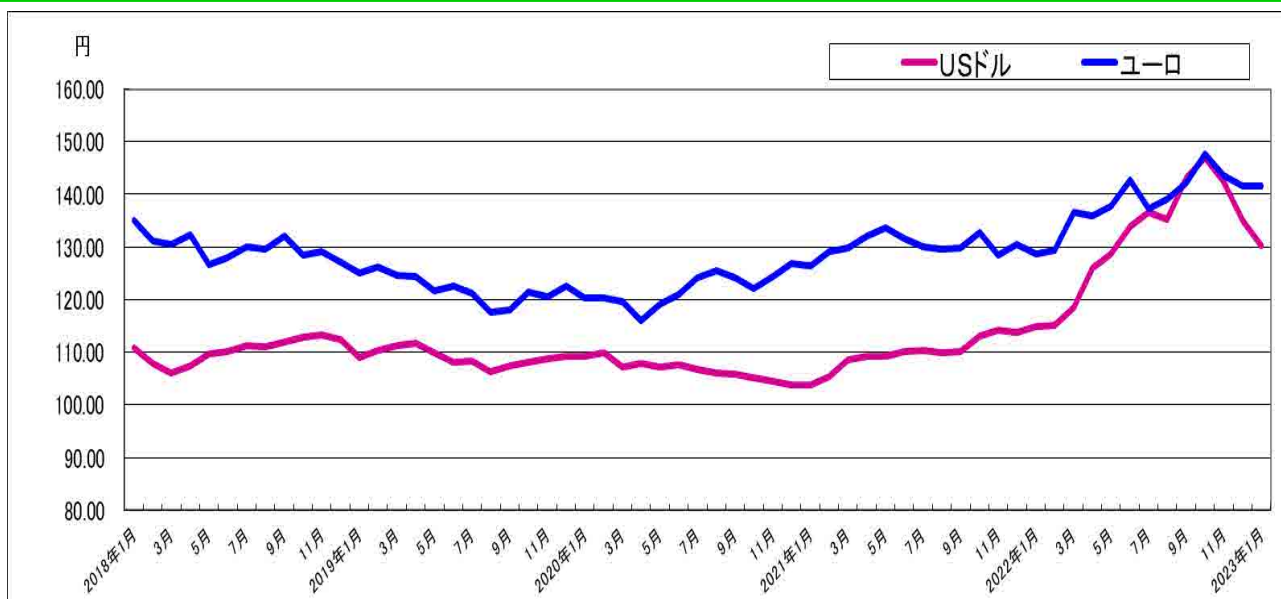
- 2022年は、木材産業の倒産件数が13件（前年比68%）、負債金額が7,645百万円（同177%）。

年・月	企業倒産状況								
	全 企 業				木材・木製品業				
	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	
2019年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	-	200	-
	11	581	114	115,589	123	1	-	86	-
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」



- 2023年1月の為替相場は、1ドル130.20円、1ユーロ141.56円。



(単位:円)

年月	USDドル	ユーロ
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95

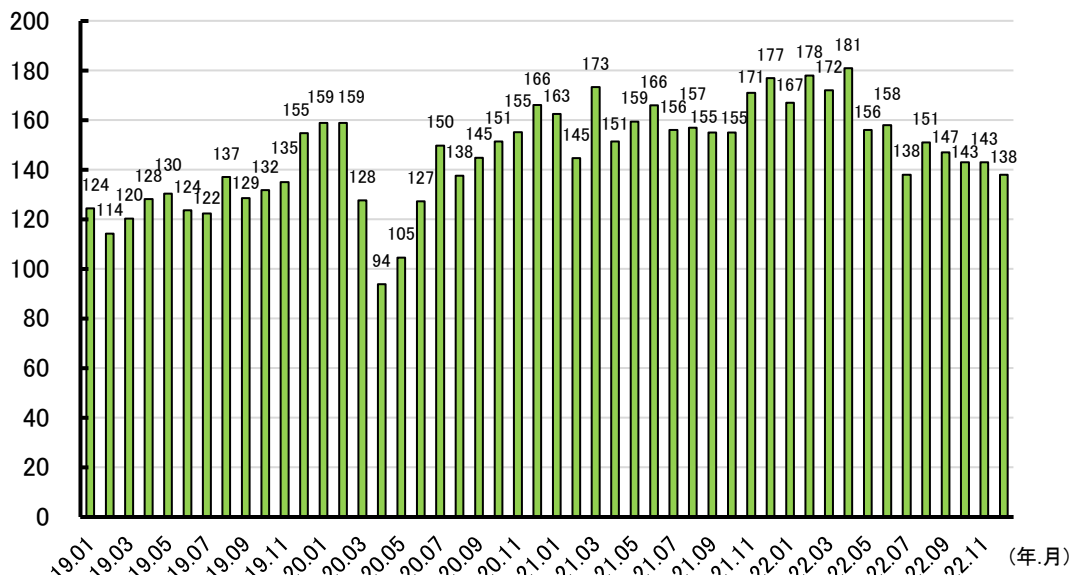
(単位:円)

年月	USDドル	ユーロ
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続き、2022年12月は138万戸となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年7月以降は下落傾向が続いている。

○米国における住宅着工戸数  
(万戸)

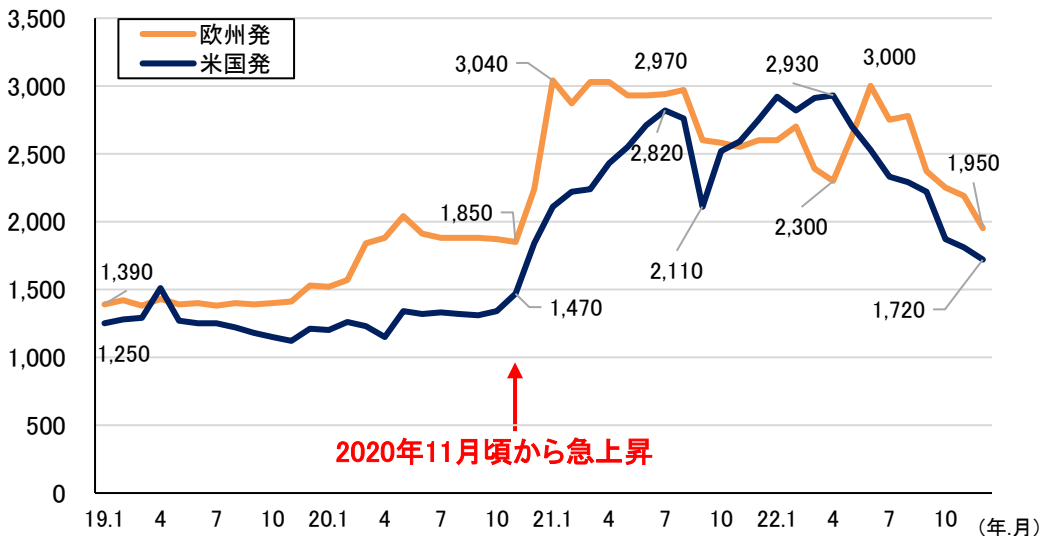


資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移

(米ドル/個)

※出典元のDrewry社集計データの一部(2021年8月~2022年6月の欧州発コンテナ運賃)が修正されたため、それに併せてグラフデータを修正しました(2022年6月以降)。



2020年11月頃から急上昇

注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

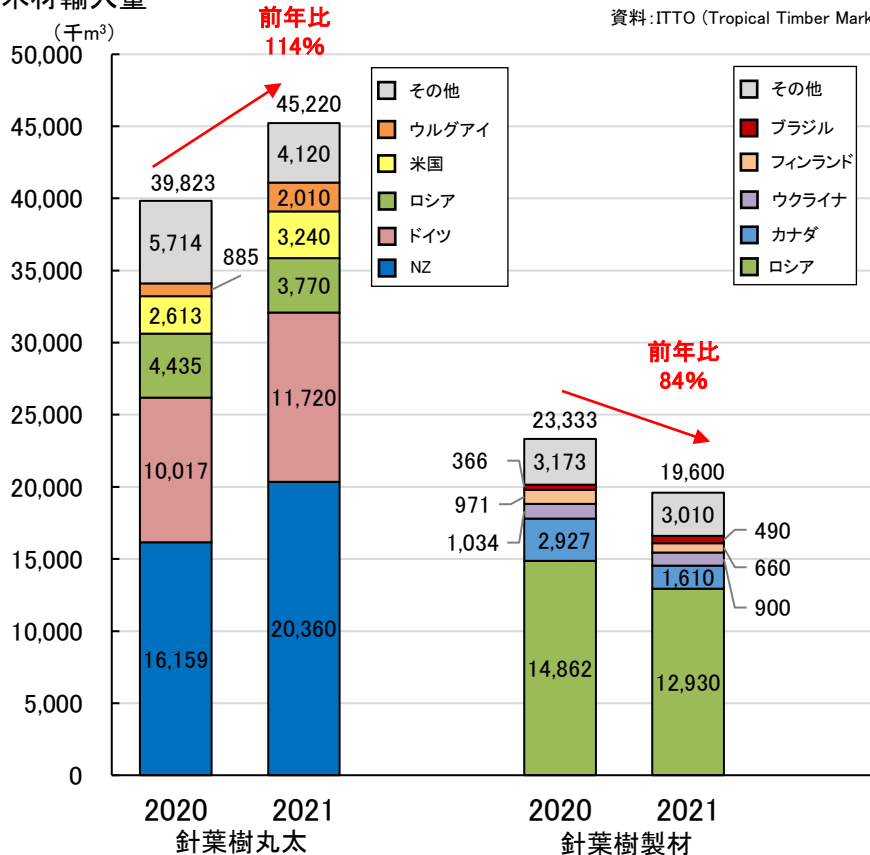
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比114%の4,522万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比84%の1,960万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、2020年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

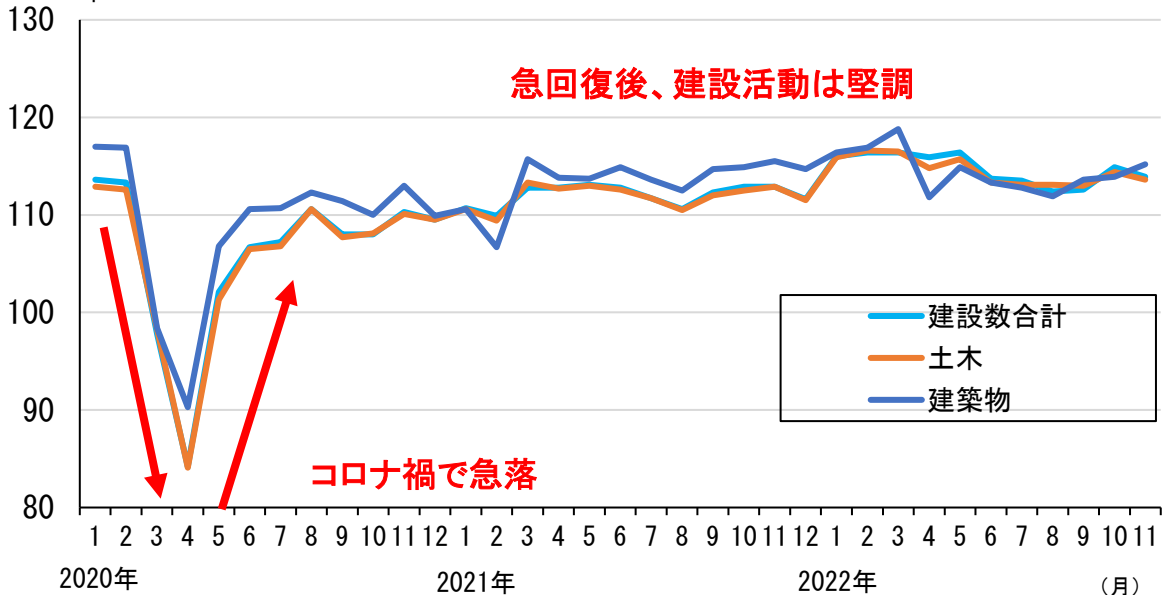
○中国の木材輸入量

資料:ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))



○EUにおける建設活動水準 (2015年比)

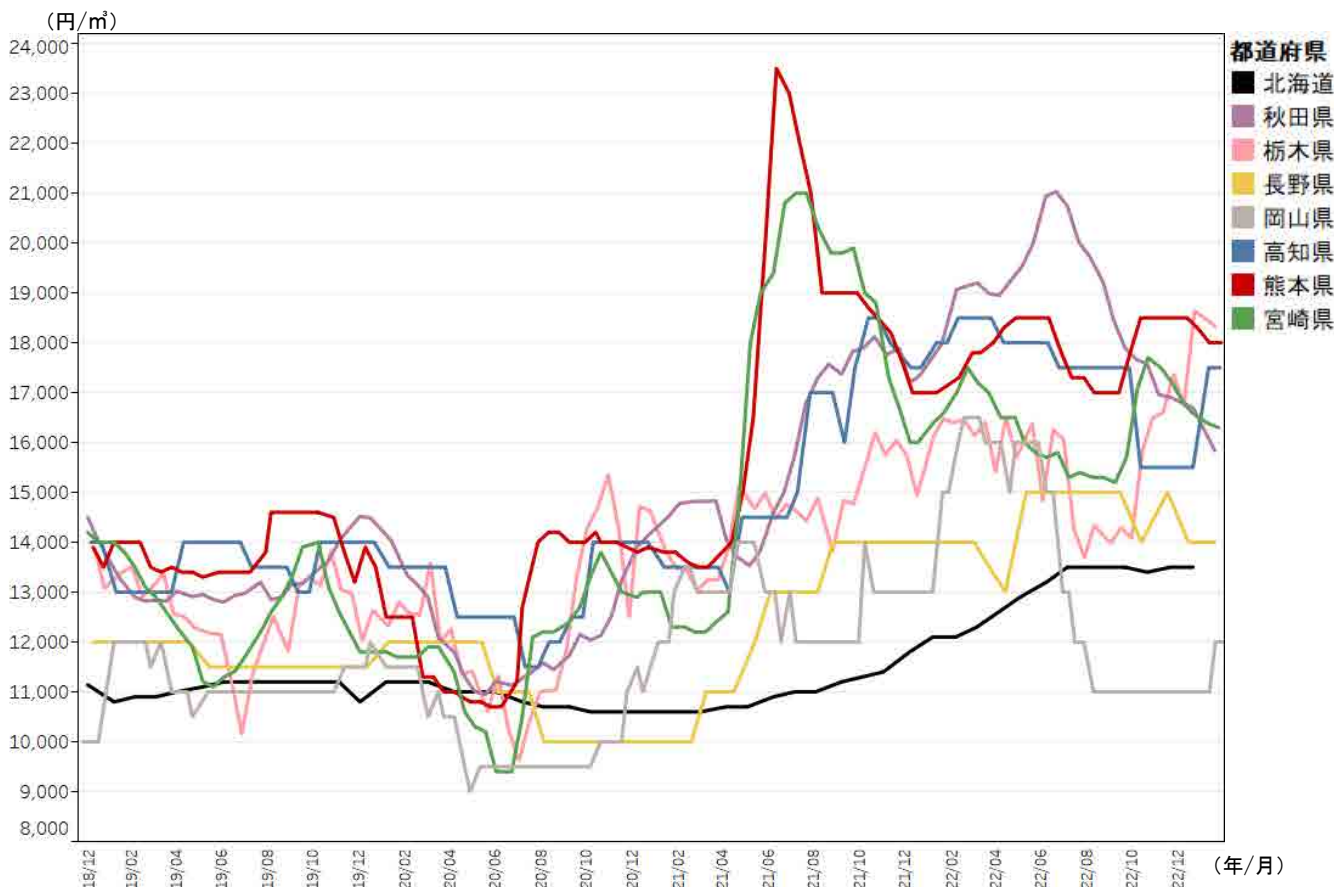
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

## 木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 2021年4月以降、いわゆるウッドショックにより価格が大きく上昇し、その後一部の地域で下落したが、全般的には、2021年3月以前と比較すると高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、12,000円～18,330円/m<sup>3</sup>となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

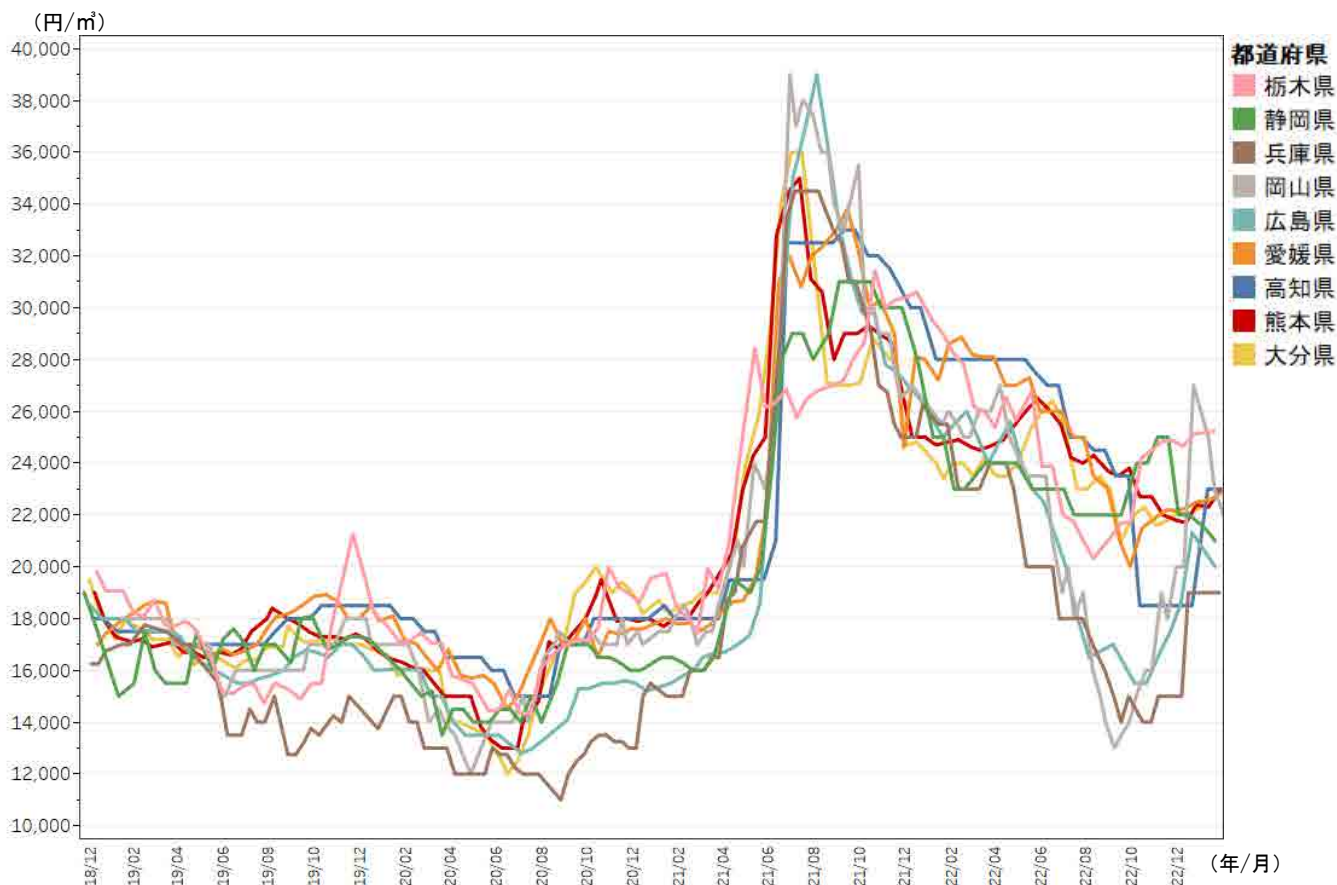
（単位：円/m<sup>3</sup>）

都道府県	2022年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,500	11,800	114%
秋田県	15,840	17,980	88%
栃木県	18,330	16,470	111%
長野県	14,000	14,000	100%
岡山県	12,000	15,000	80%
高知県	17,500	18,000	97%
熊本県	18,000	17,000	106%
宮崎県	16,300	16,600	98%

※北海道については12月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については1月の値を使用。

## 木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様に、2021年4月以降、価格が大きく上昇。その後下落傾向に転じているが、2021年3月以前と比較すると全般的に高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、19,000円～25,230円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	25,230	29,000	87%
静岡県	21,000	25,000	84%
兵庫県	19,000	25,500	75%
岡山県	22,000	26,000	85%
広島県	20,000	25,000	80%
愛媛県	22,900	28,600	80%
高知県	23,000	28,000	82%
熊本県	23,000	24,700	93%
大分県	22,500	24,000	94%

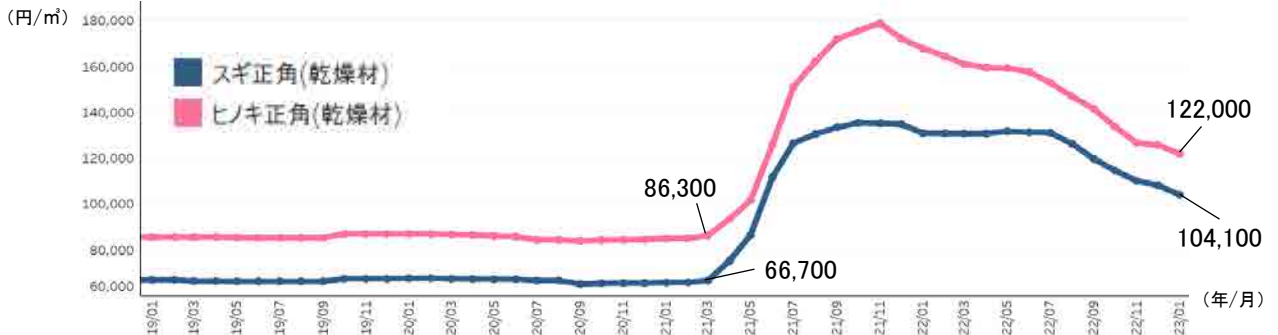
※各県1月の値を使用。

## 木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

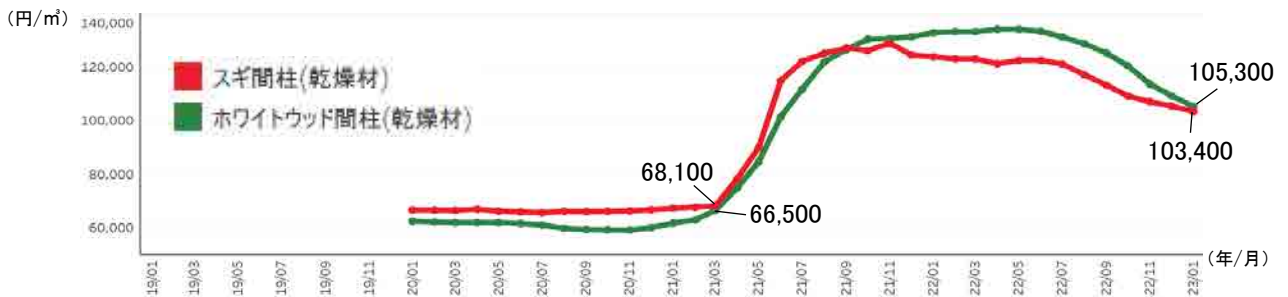
- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック以前（2021年3月以前）と比較すると、引き続き高い水準で推移。
- 2023年1月の正角（乾燥材）の価格について、スギは104,100円/m<sup>3</sup>（前年同期比79%）、ヒノキは122,000円/m<sup>3</sup>（同73%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは103,400円/m<sup>3</sup>（前年同期比83%）、ホワイトウッドは105,300円/m<sup>3</sup>（同79%）。
- 2022年12月の針葉樹合板の価格は、2,320円/枚（前年同期比134%）。

### ■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

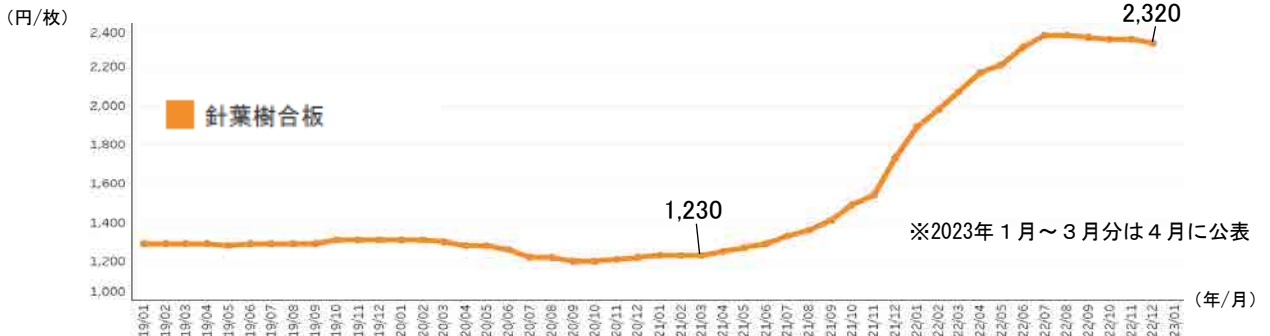
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
- 2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 3 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）







(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400	17,900	17,800	17,800	17,500	17,500	17,300	17,300
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000	15,900	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100	15,100	15,100	15,200	15,000	14,700	14,700	14,500
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400	18,400	19,400	19,400	19,300	19,200	19,200	20,500
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200	13,500	14,100	13,400	13,200	13,000	13,200	13,000
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300	19,300	18,900	18,300	18,400	19,000	19,200	18,900
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600	18,200	17,400	16,600	15,900	16,000	15,900	16,400
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900	17,900	17,400	16,900	16,900	15,800	14,300	14,800
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300	15,300	14,300	14,000	14,000	14,000	14,000	14,300
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	16,700	16,700
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900	22,900	20,800	20,800	20,800	19,700	18,700	18,700
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600	17,600	17,100	17,100	17,100	17,100	17,000	17,000
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300	21,700	21,400	21,600	22,200	25,800	21,900	21,400
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000	17,700	17,500	17,900	18,500	18,300	18,500	17,900
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700	17,700	17,500	16,800	16,900	17,900	19,000	18,000
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800	18,700	18,700	18,500	17,600	18,300	18,800	18,800

・2023年

都道府県	1月
青森	14,400
岩手	17,300
宮城	14,800
秋田	14,300
山形	20,500
福島	13,200
栃木	16,500
岐阜	18,300
静岡	18,600
三重	16,600
奈良	15,800
岡山	14,000
徳島	16,700
愛媛	18,700
佐賀	16,500
熊本	20,800
大分	17,900
宮崎	17,900
鹿児島	18,800

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800	30,600	27,400	25,100	21,500	21,400	22,900	23,000
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800	26,800	24,500	21,900	21,000	21,200	21,800	22,300
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700	28,700	28,700	26,400	26,400	26,500	26,500	25,500
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600	27,000	26,600	25,600	24,400	24,400	23,600	23,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900	28,500	27,600	27,500	26,200	25,900	27,200	26,000
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200	24,500	22,800	22,300	22,000	21,500	22,500	22,600
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600	30,500	27,200	27,200	27,100	24,900	25,000	25,000
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900	27,800	26,800	23,800	21,800	19,800	19,800	20,900	23,900
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500	25,500	23,700	22,900	22,900	22,200	22,200	21,900
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900	24,400	23,900	22,500	16,500	17,000	21,300	21,700
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300	26,700	26,800	26,200	21,500	20,400	19,400	19,800
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100	28,200	27,700	24,900	22,000	21,300	19,900	19,900
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200	26,400	26,800	26,500	22,600	21,200	20,200	20,400
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100	28,200	26,800	25,400	25,600	25,400	25,500	24,600
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600	15,400	19,000	18,700	18,700	18,700	18,400	17,500
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800	25,000	23,900	22,100	22,000	22,600	23,700	23,000

・2023年

都道府県	1月
福島	25,600
茨城	23,300
栃木	25,700
岐阜	22,300
静岡	24,900
三重	23,500
兵庫	25,000
奈良	26,900
和歌山	22,000
岡山	25,900
広島	22,800
愛媛	20,000
高知	21,700
熊本	25,700
大分	18,400
宮崎	21,900

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700	15,500	15,600	15,600	15,800
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500	30,500	30,100	28,200	25,700

・2023年

都道府県	1月
北海道	15,500
岩手	25,700

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800	13,800	13,800	13,800	13,100
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800	17,100	16,900	16,200	16,200
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400	15,300	15,400	15,200	15,200

・2023年

都道府県	1月
岩手	13,100
宮城	16,400
秋田	16,100
島根	15,000

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			88,000			88,000			77,300			77,300
東京			58,800			58,800			57,300			53,500
大阪			103,100			103,100			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500			58,600			56,700

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200	109,800	96,100	95,700	95,400
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500	135,500	134,700	132,400	131,600
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800	132,800	132,400	126,800	121,000
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,500	146,300	139,800	134,000	134,000
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300	114,400	110,500	109,700	108,300
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900	111,900	110,000	105,200	105,200
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300	131,200	128,000	122,600	119,400
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600	113,800	110,100	102,800	102,800

・2023年

都道府県	1月
埼玉	94,400
千葉	130,800
東京	109,800
神奈川	128,700
愛知	106,900
大阪	99,700
兵庫	111,600
福岡	102,800

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			98,200			98,100			92,000			91,000
東京			x			x			x			x
愛知			94,800			94,800			93,500			93,500
大阪			119,700			112,100			107,900			100,300
兵庫			116,300			114,300			106,300			95,500
福岡			82,500			86,600			84,200			82,500

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600	122,800	110,100	109,700	109,700
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100	158,100	156,100	150,200	150,200
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200	164,600	164,200	153,400	153,400
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300	167,300	151,900	146,500	145,600
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600	130,700	124,600	117,000	115,100
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600	147,000	137,800	130,600	130,600
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000	138,400	131,500	117,900	113,300

・2023年

都道府県	1月
埼玉	108,400
千葉	150,200
東京	153,200
神奈川	138,900
愛知	114,900
大阪	118,900
兵庫	112,600

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道			135,700			138,000			138,000			138,000
埼玉			144,700			148,800			151,900			147,200
千葉			139,800			142,400			142,400			140,700
東京			154,400			154,400			154,400			154,000
神奈川			142,200			143,100			143,100			140,800
愛知			158,300			158,300			145,500			143,000
大阪			121,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,500			141,800			141,800			145,000

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200	103,800	99,500	96,100	96,100
千葉	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200	110,300	107,500	103,600	102,800
東京	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200	120,900	115,400	107,500	104,800
神奈川	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900	122,200	117,500	116,100	114,900
愛知	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700	110,300	106,900	106,500	102,400
大阪	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000	110,000	110,000	105,600	101,200
兵庫	137,000	137,000	137,000	137,200	142,400	142,400	137,200	131,900	126,600	121,200	121,100	115,700
広島	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800	138,500	127,300	127,300	125,300
福岡	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900	105,900	104,900	104,900	104,900

・2023年

都道府県	1月
埼玉	95,000
千葉	102,400
東京	96,800
神奈川	111,200
愛知	97,700
大阪	95,700
兵庫	110,500
広島	124,700
福岡	104,500

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700	111,500	107,800	99,900	95,200
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600	143,800	134,800	134,600	127,700
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	144,400	131,300	130,000	122,900
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000	133,000	125,300	121,700	121,700
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500	122,200	115,200	106,700	101,200
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500	110,600	110,000	104,500	99,000
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500	134,600	134,600	115,700	112,900
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300	122,400	122,400	119,700	117,600

・2023年

都道府県	1月
埼玉	94,700
千葉	125,000
東京	121,200
神奈川	118,700
愛知	97,400
大阪	93,500
兵庫	104,500
広島	112,300

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2022年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000	4,000	3,800	3,600	3,700
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400	4,200	4,200	4,000	4,000

・2023年

都道府県	1月
秋田	3,500
宮崎	3,500

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2022年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700	4,500	4,400	4,200	4,000

・2023年

都道府県	1月
岡山	3,600

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉			2,220			2,420			2,390			2,350
東京			2,140			2,420			2,410			2,410
大阪			1,840			1,990			2,220			2,130

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

## ○チップ用丸太（針葉樹）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300	7,300	7,300	7,400	7,400
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900	6,600	6,300	6,400	5,700
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700	7,800	7,400	7,400	7,500
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	7,200
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100	10,200	9,600	9,800	9,800
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500	6,400	6,300	5,900	6,100
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600	5,600	5,900	6,000	5,600
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800	7,100	7,400	7,600	7,400
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,900	7,900	8,000	8,000
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

・2023年

都道府県	1月
北海道	7,400
青森	7,000
岩手	7,300
宮城	6,000
秋田	7,000
山形	6,200
福島	6,800
栃木	5,300
山梨	7,700
長野	7,200
京都	8,900
兵庫	7,200
島根	9,400
広島	6,100
高知	5,600
熊本	8,200
宮崎	8,000
鹿児島	8,200

## ○チップ用丸太（広葉樹）

・2022年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,400
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,000	9,400	9,400
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500	7,500	7,500	7,400	7,400
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,100	6,000	6,000
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900	9,100	8,900	9,100	8,900
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300	8,300	8,300	8,400	8,400
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2023年

都道府県	1月
北海道	9,900
青森	12,100
岩手	11,400
宮城	9,000
秋田	12,500
山形	9,700
福島	8,900
山梨	7,500
島根	10,700
広島	6,000
熊本	8,700
宮崎	8,400
鹿児島	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

## ○木材チップ（針葉樹）

・2022年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,200	15,400	15,400
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700	16,700	16,700	17,000	17,200	17,200
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	17,100	17,100
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,800	19,800
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800	16,300	16,300	16,500	16,700	16,700
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	19,300	21,200
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	18,000	18,000
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	21,900	21,900	22,000
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,000
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	20,900
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,200	18,300	18,600
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

・2023年

都道府県	1月
北海道	15,400
青森	17,700
岩手	17,100
宮城	19,800
秋田	16,800
福島	21,200
茨城	7,500
栃木	12,800
富山	18,100
静岡	18,000
京都	22,000
兵庫	19,300
岡山	14,600
広島	16,000
徳島	21,600
愛媛	12,900
高知	20,900
熊本	18,600
大分	12,500
宮崎	11,100
鹿児島	13,000

## ○木材チップ（広葉樹）

・2022年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800	20,800	20,900	21,100	21,200
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100	19,100	19,100	19,300	19,500	19,500
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,600	19,700
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	20,500	20,500
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,800	21,400
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000	17,400	17,400	17,400	17,400	17,400
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400	22,400	22,600	22,600	22,600	22,600
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700	19,800	19,800	19,800	19,900	20,300
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500	20,500	20,500	20,900	20,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2023年

都道府県	1月
北海道	21,200
青森	19,800
岩手	19,700
宮城	20,500
秋田	22,000
福島	21,400
栃木	16,400
山梨	17,400
島根	22,600
広島	20,300
熊本	22,800
宮崎	21,000
鹿児島	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

# 木材需給情報-1 木材需要の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総需要量は、82,132千 $m^3$ （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 $m^3$ （同109.4%）、しいたけ原木が246千 $m^3$ （同101.7%）、燃料材が14,744千 $m^3$ （同115.1%）である。
- 国内消費量は、78,881千 $m^3$ （対前年比110.4%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、パルプ・チップ用材の+2,629千 $m^3$ （同110.6%）、燃料材の+1,940千 $m^3$ （同115.2%）である。
- 輸出量は、3,251千 $m^3$ （対前年比108.0%）となった。この中で、前年に比べて増加したものは、丸太（用材）の+75千 $m^3$ （同105.4%）、製材品等の+60千 $m^3$ （同121.8%）、合板等の+58千 $m^3$ （同132.4%）、木材パルプ・チップ等の+50千 $m^3$ （同104.3%）である。

## 木材需要の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 $m^3$ )	対前年 比 (%)
			数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)	数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製材用材	26,179	31.9	24,597	33.0	1,582	106.4
		合板用材	10,294	12.5	8,919	12.0	1,375	115.4
		パルプ・チップ用材	28,743	35.0	26,064	35.0	2,679	110.3
		その他用材	1,926	2.3	1,812	2.4	114	106.3
		小計	67,142	81.7	61,392	82.5	5,750	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,744	18.0	12,805	17.2	1,939	115.1	
計			82,132	100.0	74,439	100.0	7,693	110.3
国 内 消 費	用 材	製材用材	25,844	32.8	24,321	34.0	1,523	106.3
		合板用材	10,056	12.7	8,741	12.2	1,315	115.0
		パルプ・チップ用材	27,529	34.9	24,900	34.9	2,629	110.6
		その他用材	466	0.6	426	0.6	40	109.4
		小計	63,895	81.0	58,387	81.7	5,508	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,740	18.7	12,800	17.9	1,940	115.2	
計			78,881	100.0	71,430	100.0	7,451	110.4
輸 出	用 材	丸太	1,459	44.9	1,384	46.0	75	105.4
		製材品等	335	10.3	275	9.2	60	121.8
		合板等	237	7.3	179	5.9	58	132.4
		木材パルプ・チップ等	1,214	37.3	1,164	38.7	50	104.3
		その他	2	0.1	3	0.1	△1	66.7
	小計	3,247	99.9	3,005	99.8	242	108.1	
燃料材	4	0.1	5	0.2	△1	80.0		
計			3,251	100.0	3,009	100.0	242	108.0

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

## 木材需給情報-1 木材供給の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総供給量は、82,132千 $m^3$ （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 $m^3$ （同109.4%）、しいたけ原木が246千 $m^3$ （同101.7%）、燃料材が14,744千 $m^3$ （同115.1%）である。
- 国内生産量は、33,723千 $m^3$ （対前年比108.3%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、丸太（用材）の+2,092千 $m^3$ （同109.6%）である。
- 輸入量は、48,409千 $m^3$ （対前年比111.8%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、木材チップ等の+2,538千 $m^3$ （同115.2%）、燃料材の+1,516千 $m^3$ （同139.1%）である。一方で、製材品等は $\Delta$ 218千 $m^3$ （同97.8%）、木材パルプは $\Delta$ 199千 $m^3$ （同96.0%）と減少した。

### 木材供給の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 $m^3$ )	対前年 比 (%)	
			数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)	数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	27,845	33.9	25,180	33.8	2,665	110.6	
		林地残材	161	0.2	106	0.1	55	151.9	
		輸入木材製品	39,136	47.6	36,106	48.5	3,030	108.4	
		小計	67,142	81.7	61,392	82.5	5,750	109.4	
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7		
	燃料材	14,744	18.0	12,805	17.2	1,939	115.1		
	計	82,132	100.0	74,439	100.0	7,693	110.3		
国内生産	用材	丸太	23,966	71.1	21,874	70.2	2,092	109.6	
		林地残材	161	0.5	106	0.3	55	151.9	
		小計	24,127	71.5	21,980	70.6	2,147	109.8	
	しいたけ原木	246	0.7	242	0.8	4	101.7		
	燃料材	9,350	27.7	8,927	28.7	423	104.7		
計	33,723	100.0	31,149	100.0	2,574	108.3			
輸 入	用材	丸太	3,879	8.0	3,306	7.6	573	117.3	
		製材品等	製材品等	9,903	20.5	10,121	23.4	$\Delta$ 218	97.8
			合板等	5,201	10.7	4,293	9.9	908	121.2
			木材パルプ	4,798	9.9	4,997	11.5	$\Delta$ 199	96.0
			木材チップ等	19,184	39.6	16,646	38.5	2,538	115.2
			その他	49	0.1	49	0.1	0	100.0
	細計	39,136	80.8	36,106	83.4	3,030	108.4		
	小計	43,015	88.9	39,412	91.0	3,603	109.1		
燃料材	5,394	11.1	3,878	9.0	1,516	139.1			
計	48,409	100.0	43,290	100.0	5,119	111.8			

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。

6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。



# 木材需給情報-1 木材自給率の動向（2021年木材需給表）

- 建築用材等の自給率は、製材用材の国内生産が大きく増加したこと等により、対前年比で0.8ポイント上昇し、48.0%となった。
- 非建築用材等の自給率は、パルプ・チップ用材及び燃料材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で2.0ポイント低下し、35.5%となった。
- これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.7ポイント低下し、41.1%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100  
 ※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

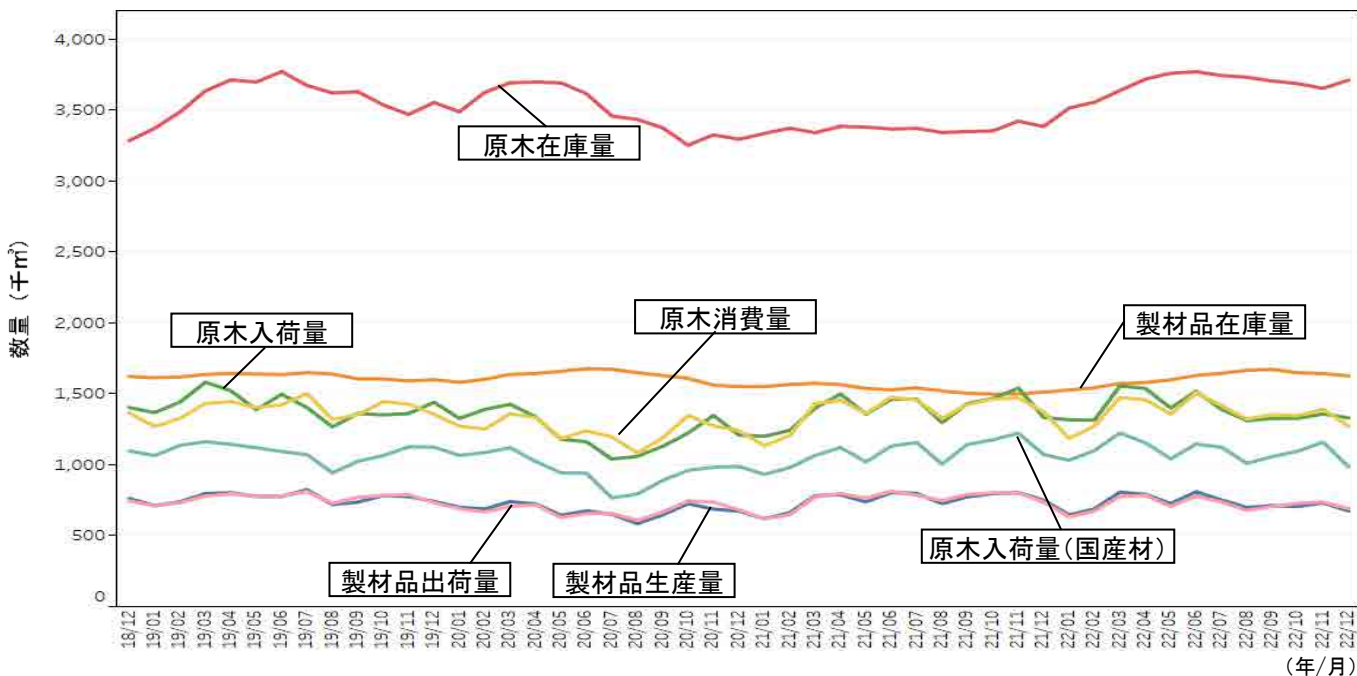
## 木材自給率の動向

区 分		2021年	2020年	対前年 増減量 (千m <sup>3</sup> )	対前年比 (%)	
		数量 (千m <sup>3</sup> )	数量 (千m <sup>3</sup> )			
建築用材等	国内生産	17,522	15,810	1,712	110.8	
	輸入	18,951	17,706	1,245	107.0	
	総需要量	36,473	33,516	2,957	108.8	
	自給率	48.0%	47.2%	0.8ポイント		
用材	製材用材	国内生産	12,861	11,615	1,246	110.7
		輸入	13,318	12,982	336	102.6
	総需要量	26,179	24,597	1,582	106.4	
	自給率	49.1%	47.2%	1.9ポイント		
合板用材	国内生産	4,661	4,195	466	111.1	
	輸入	5,633	4,724	909	119.2	
総需要量	10,294	8,919	1,375	115.4		
自給率	45.3%	47.0%	△1.7ポイント			
非建築用材等	国内生産	16,201	15,339	862	105.6	
	輸入	29,458	25,584	3,874	115.1	
	総需要量	45,659	40,923	4,736	111.6	
	自給率	35.5%	37.5%	△2.0ポイント		
用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,744	4,420	324	107.3
		輸入	24,000	21,644	2,356	110.9
	総需要量	28,743	26,064	2,679	110.3	
	自給率	16.5%	17.0%	△0.5ポイント		
その他用材	国内生産	1,862	1,750	112	106.4	
	輸入	65	62	3	104.8	
総需要量	1,926	1,812	114	106.3		
自給率	96.6%	96.6%	0.0ポイント			
しいたけ原木	国内生産	246	242	4	101.7	
	輸入	-	-	-	-	
	総需要量	246	242	4	101.7	
自給率	100.0%	100.0%	0.0ポイント			
燃料材	国内生産	9,350	8,927	423	104.7	
	輸入	5,394	3,878	1,516	139.1	
	総需要量	14,744	12,805	1,939	115.1	
自給率	63.4%	69.7%	△6.3ポイント			
総 数	国内生産	33,723	31,149	2,574	108.3	
	輸入	48,409	43,290	5,119	111.8	
	総需要量	82,132	74,439	7,693	110.3	
	自給率	41.1%	41.8%	△0.7ポイント		
うち 用材の計	国内生産	24,127	21,980	2,147	109.8	
	輸入	43,015	39,412	3,603	109.1	
	総需要量	67,142	61,392	5,750	109.4	
	自給率	35.9%	35.8%	0.1ポイント		

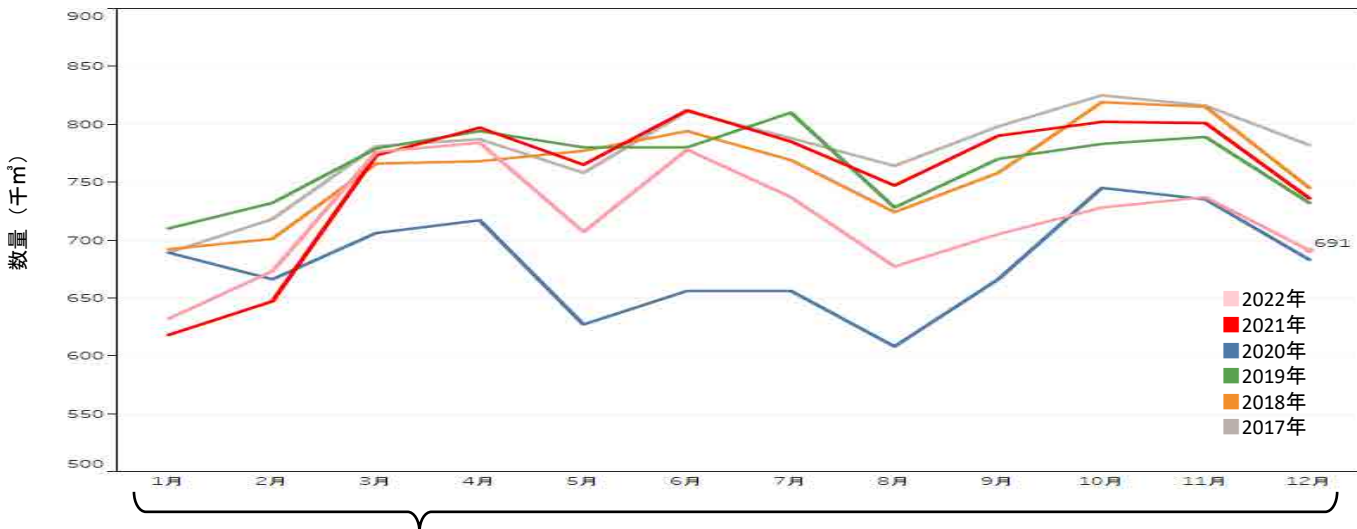
資料：林野庁「木材需給表」

注) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

- 2022年1～12月の原木の入荷量は16,677千 $m^3$ （2019年比 98%）。
- 同様に製材品の出荷量は8,625千 $m^3$ （2019年比 94%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）

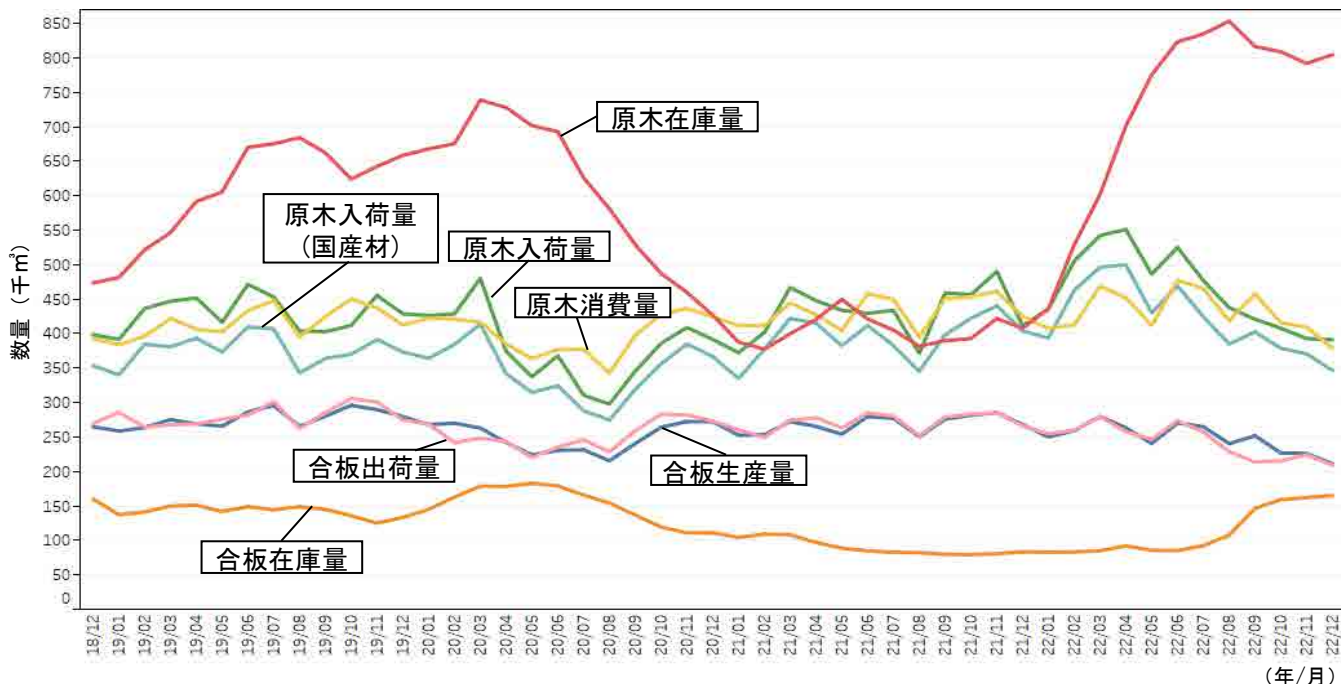


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～12月原木入荷量合計(千 $m^3$ )	16,508	16,679	16,974	14,824	16,685	<b>16,677</b>
2019年との比較*	97%	98%	—	87%	98%	<b>98%</b>
1～12月出荷量合計(千 $m^3$ )	9,317	9,128	9,187	8,154	9,073	<b>8,625</b>
2019年との比較*	101%	99%	—	89%	99%	<b>94%</b>

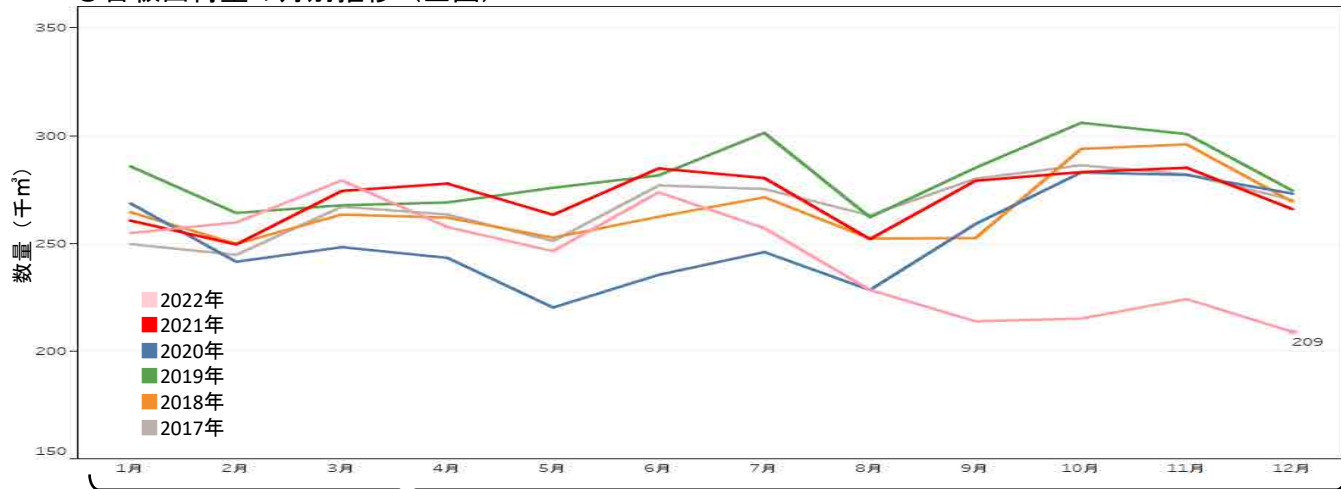
※2019年の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「製材統計」

- 2022年1～12月の原木の入荷量は5,572千 $m^3$ （2019年比 108%）。
- 同様に合板の出荷量は2,919千 $m^3$ （2019年比 87%）。



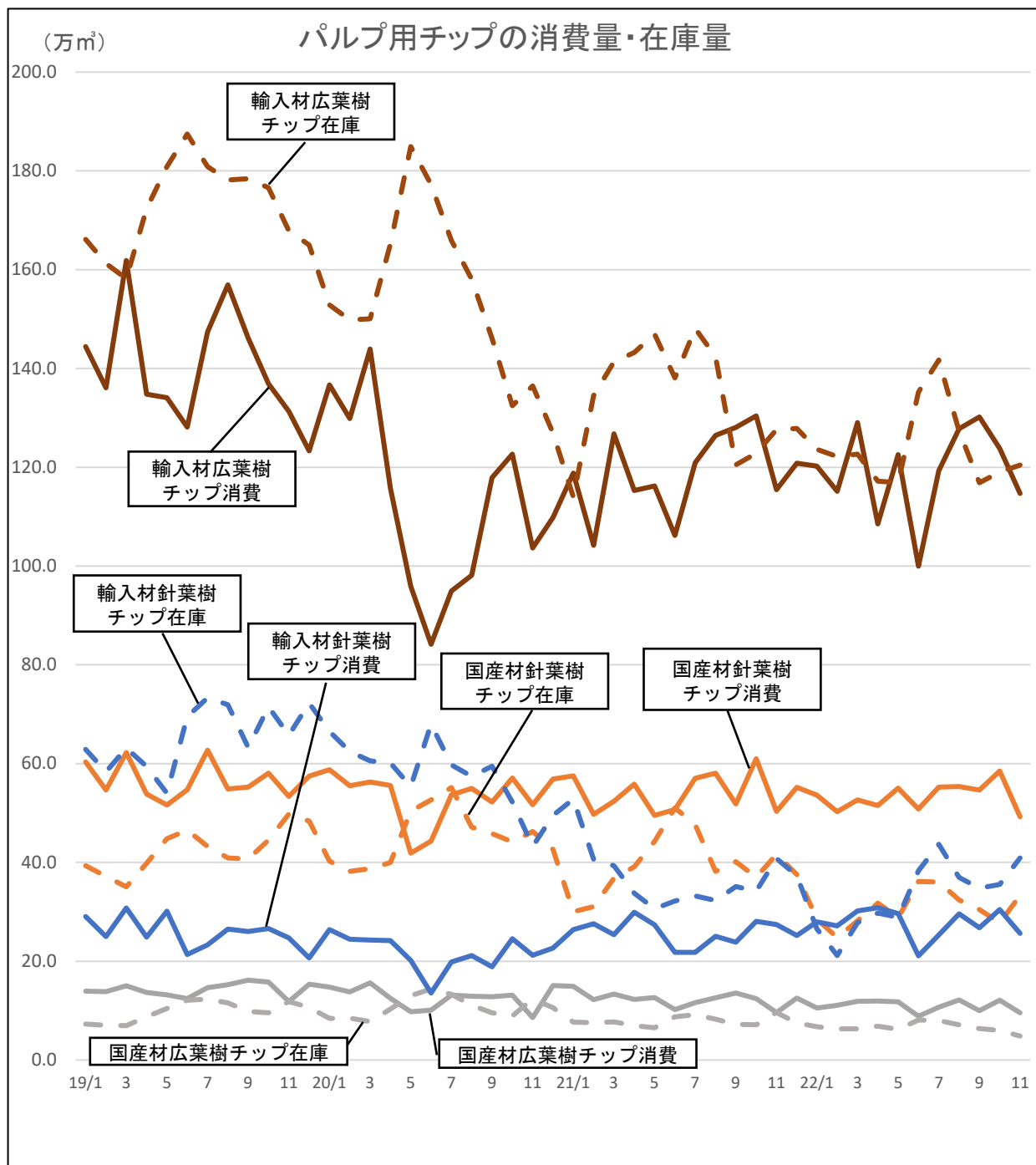
○合板出荷量の月別推移（全国）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～12月原木入荷量 合計(千 $m^3$ )	4,587	4,930	5,169	4,554	5,173	<b>5,572</b>
2019年との比較*	89%	95%	—	88%	100%	<b>108%</b>
1～12月出荷量 合計(千 $m^3$ )	3,209	3,190	3,374	3,028	3,256	<b>2,919</b>
2019年との比較*	95%	95%	—	90%	97%	<b>87%</b>

※2019年の数値を100%とした比較

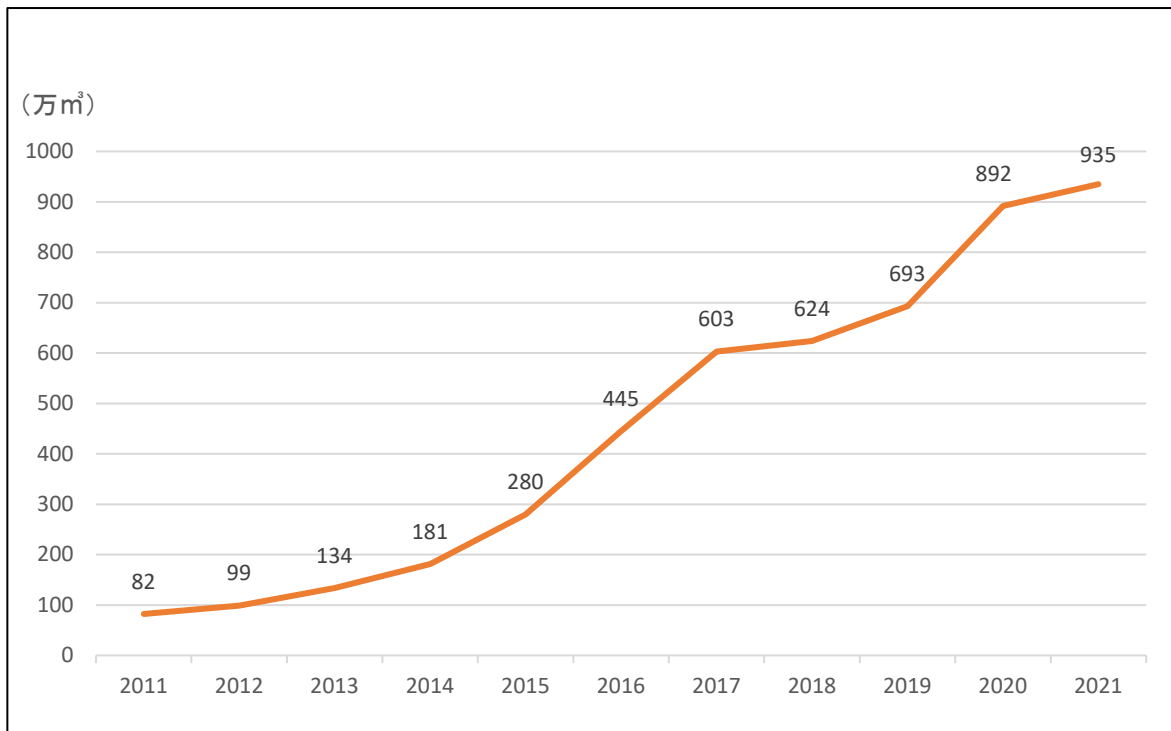
- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約11倍)。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

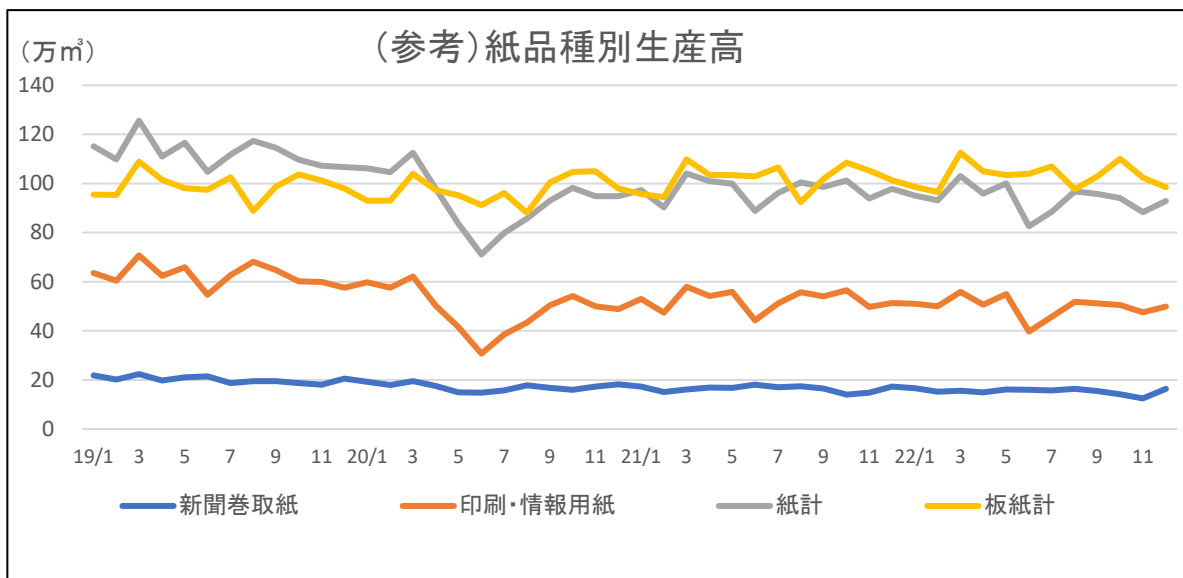
## ○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出力は含まない。

## ○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

## 木材需給情報-6 素材生産量（2021年）

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は2,185万 $m^3$ 。

単位：千 $m^3$

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北 海 道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青 森	971	360	397	214	924	812	47
岩 手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮 城	627	218	292	117	588	538	39
秋 田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山 形	305	223	75	7	302	291	3
福 島	890	444	64	382	756	568	134
茨 城	401	320	4	77	374	254	27
栃 木	658	463	5	190	571	396	87
群 馬	252	162	31	59	240	179	12
埼 玉	67	31	x	x	43	25	24
千 葉	50	16	4	30	35	28	15
東 京	64	17	8	39	58	37	6
神 奈 川	10	8	x	x	9	6	1
新 潟	119	81	23	15	112	111	7
富 山	112	57	21	34	96	90	16
石 川	108	52	37	19	98	85	10
福 井	122	57	30	35	120	114	2
山 梨	125	27	x	x	104	27	21
長 野	460	188	207	65	453	106	7
岐 阜	385	256	80	49	381	211	4
静 岡	608	199	99	310	608	248	0
愛 知	139	96	28	15	127	76	12
三 重	277	189	81	7	276	122	1
滋 賀	72	15	14	43	57	40	15
京 都	159	51	41	67	140	98	19
大 阪	x	7	-	x	10	6	x
兵 庫	301	98	143	60	287	189	14
奈 良	125	107	x	x	125	67	0
和 歌 山	206	138	24	44	201	129	5
鳥 取	232	83	101	48	211	163	21
鳥 根	346	120	124	102	289	204	57
岡 山	427	348	23	56	389	100	38
広 島	347	152	81	114	267	136	80
山 口	221	123	46	52	198	135	23
徳 島	333	175	x	x	321	263	12
香 川	13	5	-	8	8	1	5
愛 媛	563	528	3	32	563	342	-
高 知	519	x	x	94	516	254	3
福 岡	402	343	7	52	395	353	7
佐 賀	130	109	1	20	119	66	11
長 崎	139	77	12	50	120	59	19
熊 本	938	752	123	63	907	686	31
大 分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮 崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿 児 島	664	417	132	115	596	514	68
沖 縄	x	x	-	x	0	-	x

資料：農林水産省「令和3年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

# 木材需給情報-7 木材生産の産出額（2020年）

- 2020年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：千万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	2,793	2,318	30	-	-	2,260	475	-
青森	744	679	540	0	43	60	65	-
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	-
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	-	2	28	95	-
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	-
茨城	392	368	252	114	1	0	24	-
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	-
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	-
千葉	41	26	21	4	-	-	12	3
東京	19	16	7	9	-	0	2	-
神奈川	11	10	5	5	-	0	1	-
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	-
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	-
長野	463	436	59	95	32	240	17	-
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	-
静岡	307	304	135	165	1	2	2	-
愛知	208	207	99	90	0	15	2	-
三重	320	316	131	182	0	-	4	-
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	-	17	5
大阪	5	5	3	2	0	-	0	-
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	-	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	-	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	-
島根	397	321	255	52	14	0	76	-
岡山	446	435	68	363	3	-	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	-
山口	230	209	140	67	2	-	20	1
徳島	281	275	214	60	1	-	6	0
香川	8	7	2	5	0	-	-	1
愛媛	550	549	260	287	2	-	-	0
高知	500	496	243	250	3	-	3	1
福岡	187	177	128	48	1	-	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	-	9	0
長崎	100	81	30	52	-	-	18	-
熊本	1,142	1,108	739	366	3	-	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	-	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	-	26	-
鹿児島	548	475	405	62	1	-	58	15
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

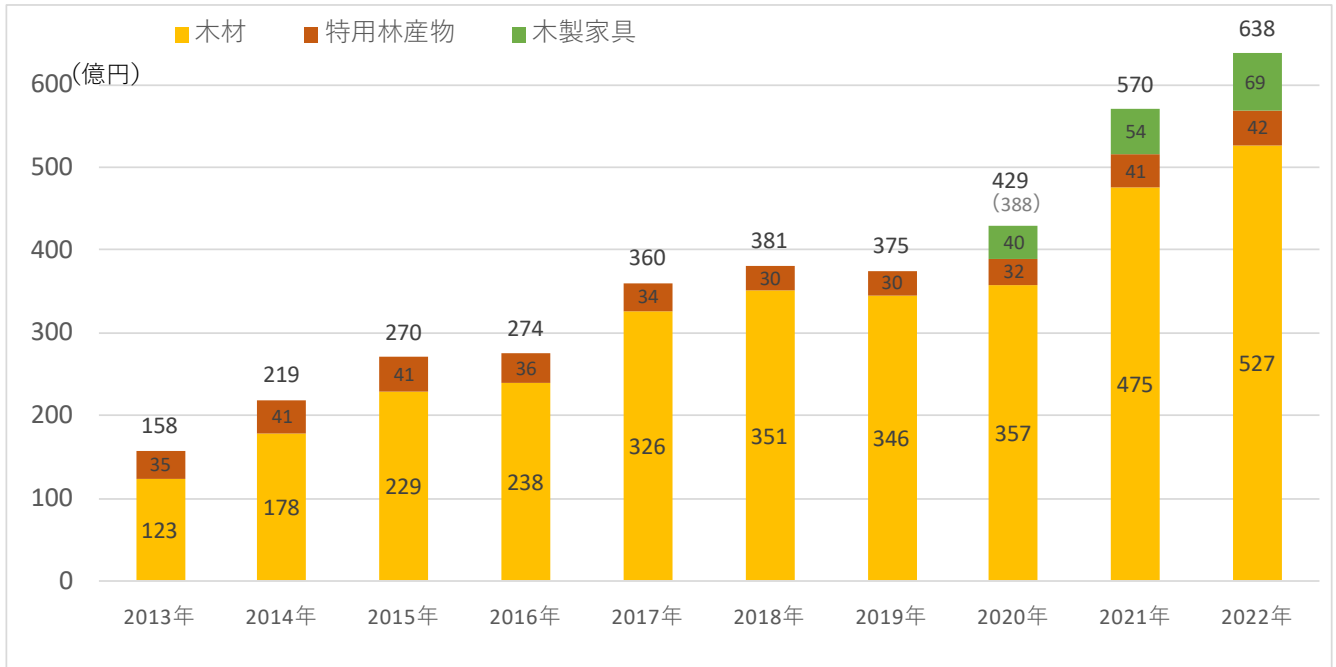
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

# 林産物輸出入情報-1 林産物輸出額

- 令和4年12月の林産物の輸出額は56億円（前年同月比112%）となった。
- 内訳としては木材が45億円（同96%）、特用林産物が4億円（同96%）、木製家具が7億円（同138%）となった。
- 1～12月の累計は、638億円（前年比112%）となった。

## ○林産物輸出の推移



資料：財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

## ○林産物の月別輸出額

(億円)

	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	3	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5	61	121%	192%	51	4	6
4月	55	47	3	5	51	92%	138%	42	3	5
5月	49	42	3	4	55	113%	176%	46	3	5
6月	54	46	3	5	58	107%	154%	48	4	6
7月	52	45	3	4	58	111%	156%	48	4	7
8月	37	30	3	5	56	149%	165%	46	3	6
9月	45	37	3	5	48	107%	130%	39	4	6
10月	52	42	4	5	54	104%	118%	44	4	6
11月	48	39	4	5	55	115%	139%	45	4	7
12月	55	46	4	5	56	100%	125%	45	4	7
12月累計	570	475	41	54	638	112%	149%	527	42	69

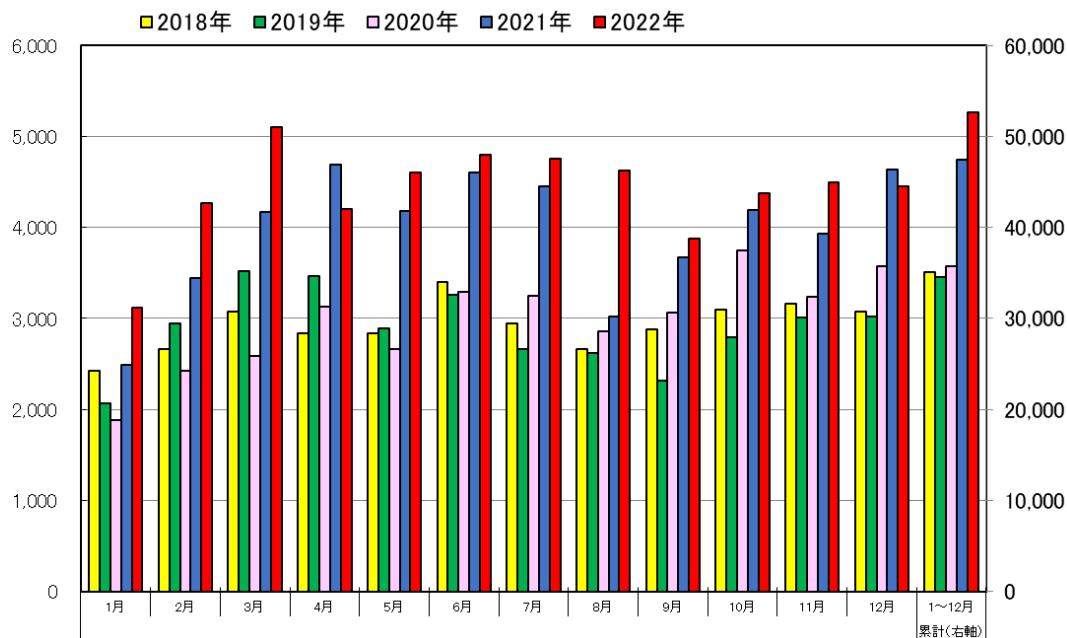
資料：財務省貿易統計



## 林産物輸出入情報- 2 木材輸出額

- 令和4年(2022年)12月の輸出額は44.5億円(前年同月比96%)となった。2022年の累計は527億円(前年同期比111%)となった。
- 特に製材輸出については、フィリピン向け輸出が減少している。また合板については、国内価格が高値で推移していることも影響し、高い輸出額となっている。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国別・品目別)

輸出先	単月 12月					累計1~12月				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	1,827	94%	1,306 90%	102 69%	27 63%	21,724	98%	16,673 98%	1,554 99%	354 61%
韓国	305	91%	198 116%	42 64%	0 4%	3,676	99%	2,101 102%	579 86%	37 73%
台湾	270	95%	155 83%	41 92%	0 0%	2,836	116%	1,499 100%	684 124%	3 12%
米国	447	84%	0 —	175 80%	0 —	6,157	117%	0 —	2,915 84%	11 161%
フィリピン	1,276	102%	0 —	102 19%	1,121 166%	14,514	141%	0 —	2,882 103%	10,588 156%
その他	326	111%	9 281%	56 82%	2 119%	3,787	104%	287 8599%	576 82%	61 96%
総計	4,451	96%	1,668 92%	518 49%	1,151 157%	52,693	111%	20,559 98%	9,191 94%	11,054 147%

※資料：財務省貿易統計(第44類を集計)、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



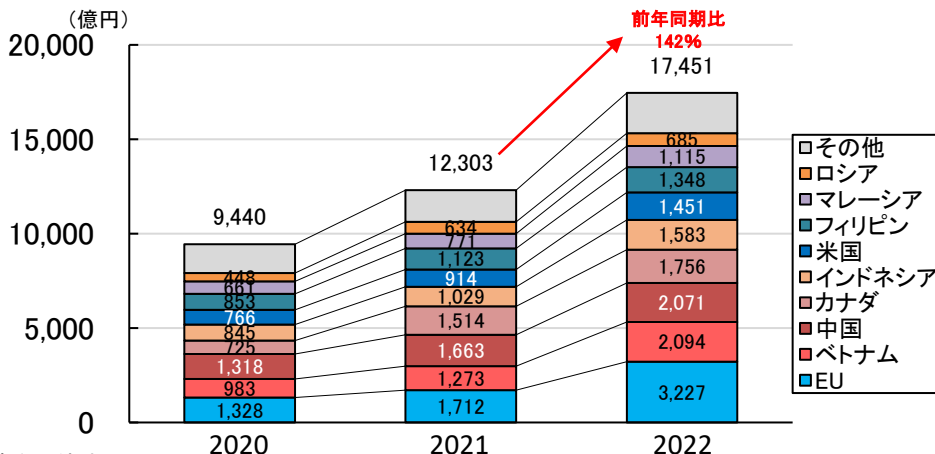
# 林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2022年12月の木材輸入額は、前月比90%、前年同月比は増減なしの1,250億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア14%）が95%、中国（同14%）が88%、カナダ（同12%）が77%、ベトナム（同10%）が95%、フィリピン（同9%）が89%、インドネシア（同8%）が84%、米国（同7%）が82%と軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、EUが69%、中国が95%、カナダが78%、フィリピンが98%、インドネシアが88%と減少する一方、ベトナムが150%、米国が142%と増加した。

(単位:億円)

年	2021年 (1月~12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1~12月	2022年 1~12月	前年 同期比
国名								
世界計	12,303	1,386	1,250	90%	100%	12,303	17,451	142%
E U	1,712	177	169	95%	69%	1,712	3,227	188%
(フィンランド)	557	58	64	110%	73%	557	1,080	194%
(スウェーデン)	399	41	37	91%	61%	399	688	173%
中 国	1,663	178	156	88%	95%	1,663	2,071	124%
カナダ	1,514	132	102	77%	78%	1,514	1,756	116%
ベトナム	1,273	200	191	95%	150%	1,273	2,094	165%
フィリピン	1,123	121	108	89%	98%	1,123	1,348	120%
インドネシア	1,029	129	108	84%	88%	1,029	1,583	154%
米 国	914	133	108	82%	142%	914	1,451	159%
マレーシア	771	87	86	99%	125%	771	1,115	145%
ロシア	634	30	20	67%	25%	634	685	108%
その他	1,669	197	201	102%	162%	1,669	2,123	127%
我が国の総輸入額	845,898	108,697	102,390	94%	121%	845,898	1,181,642	140%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.45%	1.27%	1.22%			1.45%	1.48%	

○2020~2022年の1~12月における木材輸入額(累計)



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

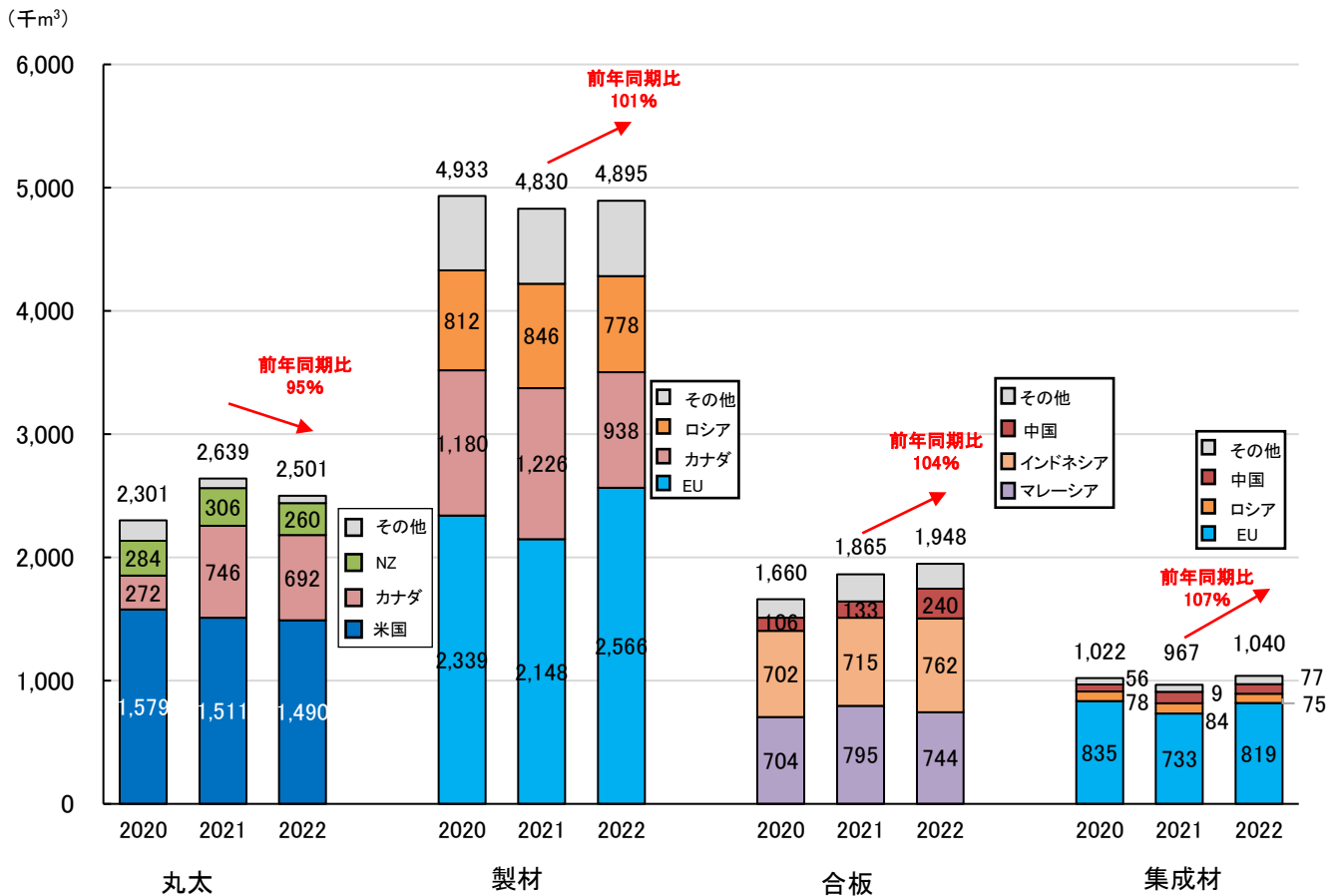
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

## 林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年1～12月における品目別の輸入量は、前年同期比で丸太が95%と減少する一方で、製材が101%、合板が104%、集成材が107%と、増加した。
- なお、2020年同期比では、丸太が109%、製材が99%、合板が117%、集成材が102%となった。

○2020～2022年の1～12月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

注：2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99～990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2022年12月の丸太輸入量は、前月比119%、前年同月比112%の20万<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、ニュージーランド（前年輸入量に占めるシェア12%）が69%と減少する一方、米国（同57%）が107%、カナダ（同28%）が174%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ニュージーランドが92%と減少する一方、米国が106%、カナダが123%と増加した。

（単位：千<sup>3</sup>）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1～12月	2022年 1～12月	前年 同期比
合計	[100%] 2,639	[100%] 165	[100%] 197			[100%] 2,639	[100%] 2,501	
米材	[86%] 2,257	[80%] 133	[83%] 164			[86%] 2,257	[87%] 2,182	
米国	[57%] 1,511	[60%] 99	[54%] 106			[57%] 1,511	[60%] 1,490	
カナダ	[28%] 746	[20%] 34	[30%] 58			[28%] 746	[28%] 692	
南洋材	[1%] 21	[2%] 3	[6%] 12			[1%] 21	[1%] 29	
インドネシア	[0%] 0	[0%] 0	-			[0%] 0	[0%] 0	
マレーシア	[0%] 8	[1%] 2	[3%] 6			[0%] 8	[1%] 22	
パプアニューギニア	[0%] 13	[1%] 1	[3%] 6			[0%] 13	[0%] 7	
ロシア材	[1%] 35	-	-			[1%] 35	[0%] 7	
ニュージーランド材	[12%] 306	[18%] 30	[10%] 20			[12%] 306	[10%] 260	
欧州材	[1%] 13	[0%] 0	[0%] 0			[1%] 13	[1%] 15	
EU 計	[1%] 13	[0%] 0	[0%] 0			[1%] 13	[1%] 15	
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 2	[0%] 2	
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 2	
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 3	[0%] 3	

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

# 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2022年12月の製材輸入量は、前月比95%、前年同月比61%の28万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア25%）が76%、ロシア（同18%）が77%と減少する一方、EU（44%）が101%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが60%、ロシアが31%、EUが67%と軒並み減少した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1～12月	2022年 1～12月	前年 同期比
合計	[100%] 4,830	[100%] 292	[100%] 277			[100%] 4,830	[100%] 4,895	
米材	[28%] 1,361	[28%] 83	[22%] 62			[28%] 1,361	[22%] 1,070	
米国	[3%] 135	[4%] 11	[3%] 8			[3%] 135	[3%] 132	
カナダ	[25%] 1,226	[24%] 71	[20%] 54			[25%] 1,226	[19%] 938	
南洋材	[1%] 56	[2%] 6	[2%] 4			[1%] 56	[1%] 63	
インドネシア	[0%] 20	[1%] 2	[1%] 2			[0%] 20	[0%] 21	
マレーシア	[1%] 34	[1%] 4	[1%] 2			[1%] 34	[1%] 40	
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-			[0%] 0	[0%] 0	
ロシア材	[18%] 846	[13%] 38	[11%] 29			[18%] 846	[16%] 778	
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 2	[2%] 5			[1%] 57	[1%] 47	
チリ材	[5%] 226	[4%] 11	[10%] 27			[5%] 226	[5%] 251	
欧州材	[46%] 2,210	[50%] 146	[53%] 146			[46%] 2,210	[54%] 2,619	
EU計	[44%] 2,148	[49%] 143	[52%] 144			[44%] 2,148	[52%] 2,566	
(スウェーデン)	[16%] 756	[17%] 50	[18%] 49			[16%] 756	[17%] 847	
(フィンランド)	[15%] 729	[16%] 48	[20%] 56			[15%] 729	[17%] 842	
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 2	[0%] 2	
中国	[1%] 64	[1%] 4	[1%] 3			[1%] 64	[1%] 57	
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 9	[0%] 8	

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シंगाポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2022年12月の合板輸入量は、前月比106%、前年同月比81%の13万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、インドネシア（前年輸入量に占めるシェア38%）が94%と減少する一方、マレーシア（同43%）が109%、ベトナム（同11%）が136%と増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが96%、インドネシアが61%と減少する一方、ベトナムが103%と増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1～12月	2022年 1～12月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 1,865	[100%] 125	[100%] 133	106%	81%	[100%] 1,865	[100%] 1,948	104%
マレーシア		[43%] 795	[36%] 45	[37%] 49	109%	96%	[43%] 795	[38%] 744	94%
インドネシア		[38%] 715	[40%] 50	[35%] 47	94%	61%	[38%] 715	[39%] 762	107%
ベトナム		[11%] 207	[13%] 16	[16%] 22	136%	103%	[11%] 207	[10%] 186	90%
中国		[7%] 133	[10%] 13	[10%] 14	106%	103%	[7%] 133	[12%] 240	181%
EU		[0%] 6	[0%] 0	[0%] 0	94%	64%	[0%] 6	[0%] 6	99%
その他		[0%] 9	[1%] 1	[1%] 1	75%	64%	[0%] 9	[1%] 10	115%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2022年12月の木材チップ輸入量は、前月比109%、前年同月比124%の100万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が84%と減少する一方で、オーストラリア（18%）が118%、チリ（同10%）が317%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが97%と減少する一方、オーストラリアが193%、チリが132%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1～12月	2022年 1～12月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 10,996	[100%] 914	[100%] 995	109%	124%	[100%] 10,996	[100%] 11,312	103%
ベトナム		[38%] 4,132	[41%] 371	[31%] 310	84%	97%	[38%] 4,132	[38%] 4,300	104%
オーストラリア		[18%] 1,947	[16%] 145	[17%] 171	118%	193%	[18%] 1,947	[17%] 1,943	100%
チリ		[10%] 1,060	[3%] 26	[8%] 82	317%	132%	[10%] 1,060	[8%] 868	82%
南アフリカ共和国		[9%] 1,026	[13%] 121	[6%] 64	53%	65%	[9%] 1,026	[10%] 1,099	107%
米国		[7%] 811	[9%] 78	[12%] 124	160%	201%	[7%] 811	[8%] 960	118%
その他		[18%] 2,020	[19%] 173	[24%] 244	141%	141%	[18%] 2,020	[19%] 2,142	106%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2022年12月の集成材輸入量は、前月比108%、前年同月比69%の5.7万m<sup>3</sup>となった。構造用集成材に限ると、前月比109%、前年同月比71%の4.9万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、ロシア（同9%）は増減なし。また、中国（前年輸入量に占めるシェア10%）が54%と減少する一方、EU（同76%）が115%と増加した。EUの国別内訳では、オーストリア（同13%）が75%と減少する一方、フィンランド（同36%）が141%、ルーマニア（同15%）が123%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが84%、中国が21%、ロシアが34%と軒並み減少した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

年 国名	2021年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1～12月	2022年 1～12月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 967	[100%] 53	[100%] 57	108%	69%	[100%] 967	[100%] 1,040	107%
うち 構造用集成材	[100%] 832	[100%] 45	[100%] 49	109%	71%	[100%] 832	[100%] 906	109%
EU	[76%] 733	[79%] 42	[84%] 48	115%	84%	[76%] 733	[79%] 819	112%
うち 構造用集成材	[85%] 709	[89%] 40	[94%] 46	115%	84%	[85%] 709	[88%] 797	112%
フィンランド	[36%] 349	[39%] 20	[51%] 29	141%	114%	[36%] 349	[38%] 390	112%
うち 構造用集成材	[41%] 345	[44%] 20	[57%] 28	140%	111%	[41%] 345	[43%] 385	112%
ルーマニア	[15%] 148	[5%] 3	[6%] 3	123%	26%	[15%] 148	[15%] 156	105%
うち 構造用集成材	[17%] 139	[5%] 2	[6%] 3	134%	29%	[17%] 139	[16%] 148	107%
オーストリア	[13%] 126	[17%] 9	[12%] 7	75%	77%	[13%] 126	[12%] 125	99%
うち 構造用集成材	[14%] 116	[18%] 8	[13%] 6	75%	73%	[14%] 116	[13%] 116	100%
中国	[10%] 93	[8%] 4	[4%] 2	54%	21%	[10%] 93	[7%] 77	83%
うち 構造用集成材	[6%] 52	[5%] 2	[1%] 1	24%	8%	[6%] 52	[5%] 45	87%
ロシア	[9%] 84	[6%] 3	[6%] 3	100%	34%	[9%] 84	[7%] 75	89%
うち 構造用集成材	[9%] 71	[6%] 3	[5%] 3	95%	31%	[9%] 71	[7%] 64	90%
その他	[6%] 57	[7%] 4	[6%] 4	93%	66%	[6%] 57	[7%] 68	121%
うち 構造用集成材	[0%] 0	[0%] -	[0%] -	-	-	[0%] 0	[0%] 0	178%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2022年12月の木質ペレット輸入量は、前月比103%、前年同月比116%の33万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア34%）が70%と減少する一方、ベトナム（同53%）が139%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが105%、カナダが154%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1～12月	2022年 1～12月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 322	[100%] 330	103%	116%	[100%] 3,117	[100%] 4,408	141%
ベトナム	[53%] 1,647	[47%] 153	[64%] 212	139%	105%	[53%] 1,647	[54%] 2,395	145%
カナダ	[34%] 1,058	[40%] 128	[27%] 90	70%	154%	[34%] 1,058	[31%] 1,359	128%
マレーシア	[5%] 156	[5%] 16	[8%] 27	170%	229%	[5%] 156	[3%] 137	88%
その他	[8%] 256	[8%] 25	[0%] 1	3%	6%	[8%] 256	[12%] 517	202%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年12月のLVL輸入量は、前月比122%の5.2万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が118%と増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 11月	2022年 12月	前月比	前年 同月比	2021年 1～12月	2022年 1～12月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 43	[100%] 52	122%		[100%] 527		
中国		[78%] 33	[75%] 39	118%		[75%] 397		
ベトナム		[19%] 8	[21%] 11	137%		[20%] 107		
インドネシア		[3%] 1	[3%] 1	123%		[4%] 19		
その他		[1%] 0	[1%] 0	126%		[1%] 4		

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

3：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

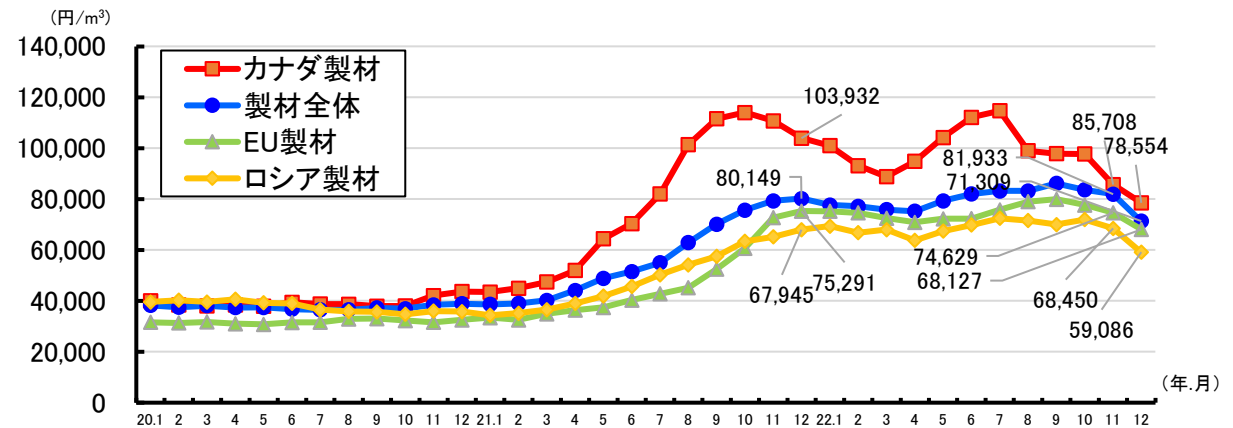
4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。



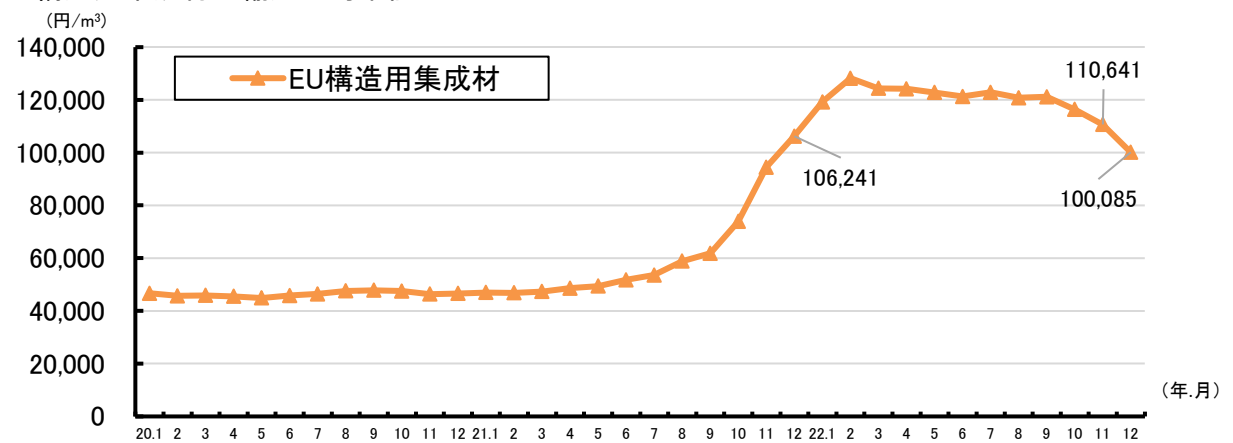
# 林産物輸出入情報-5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2022年12月の製材輸入平均単価（総輸入額/総輸入量）は、前月比87%の71,309円/m<sup>3</sup>（前年同月比89%）。うち、カナダの製材は前月比92%の78,554円/m<sup>3</sup>（同76%）、EUの製材は前月比91%の68,127円/m<sup>3</sup>（同90%）、ロシアの製材は前月比86%の59,086円/m<sup>3</sup>（同87%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比90%の100,085円/m<sup>3</sup>（同94%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比88%の99,369円/m<sup>3</sup>（同128%）。

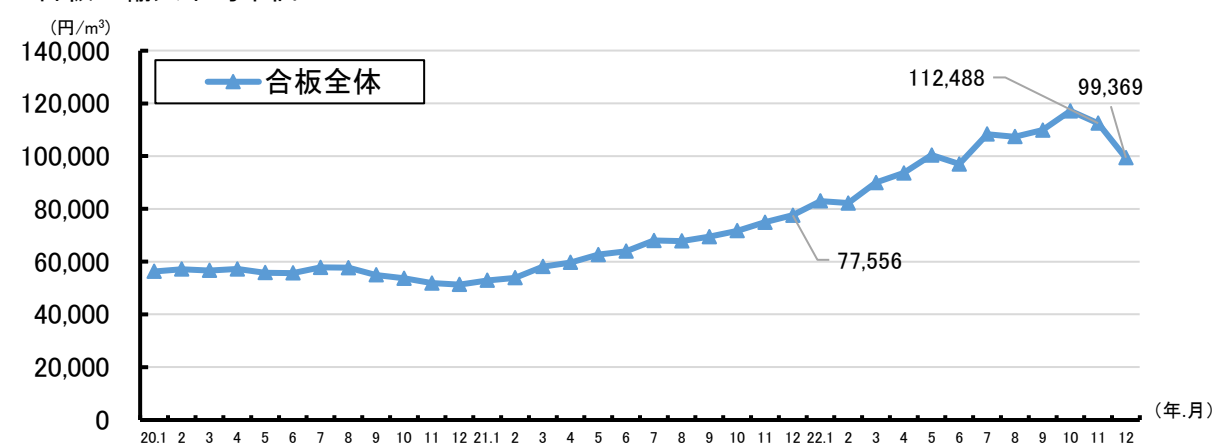
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

# 特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,021t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,806t（対前年比91.2%）となった。

## ○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39

注:まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

## ○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886

注:くりの2010年～2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

## ○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m	t	t	t	t	層積m	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,193	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,173	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,233	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,573	47	1,892	1,016	6,104	8,233	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,873	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,806	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192

- 注:1 木炭、薪の昭和47年までに生産量は『農林省統計表』による。
- 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
- 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業界調べによる
- 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

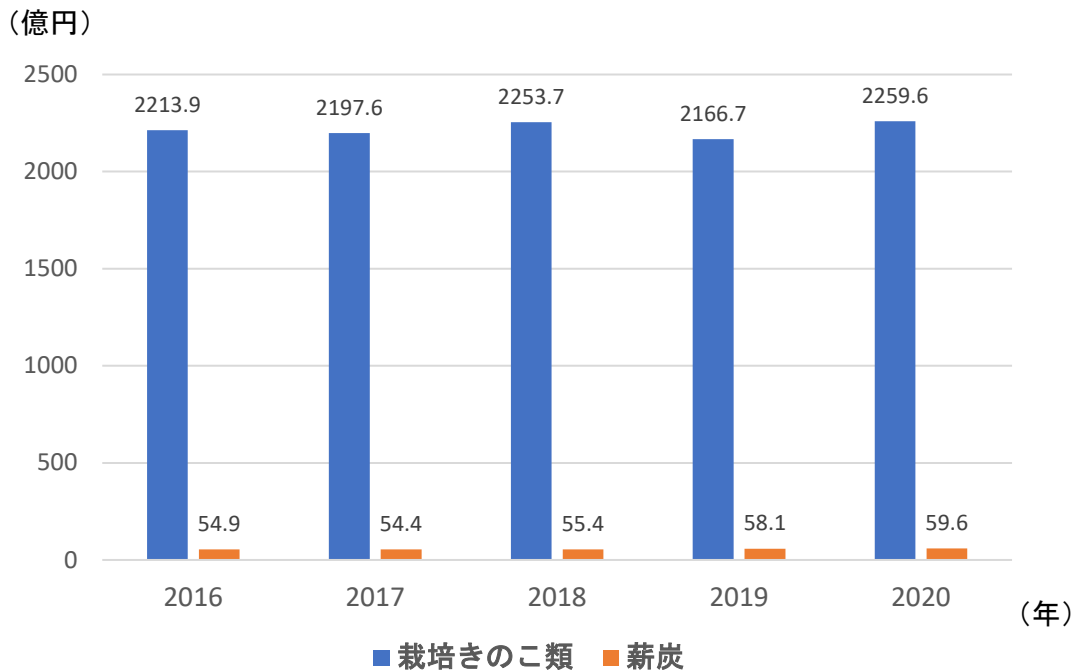
資料: 特用林産基礎資料(第一報)

## 特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2020年のきのこ類の林業産出額は2,259.6億円（対前年比104.3%）となった。
- 薪炭の林業産出額は59.6億円（対前年比102.6%）となった。

（単位：億円）

	2016	2017	2018	2019	2020
栽培きのこ類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6



資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

## 特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2022年の乾しいたけの輸出量は36トン、輸入量は4,596トン。
- 2022年の木炭の輸出量は205トン、輸入量は80,042トン。

品目	単位	2018		2019		2020		2021		2022 1-12月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	24	4,998	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596
生しいたけ	トン	…	1,942	…	1,835	…	1,785	…	1,988	14	2,262
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	46	26,696	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882
まつたけ	トン	…	798	…	849	…	629	…	524	…	408
くり	トン	…	9,781	…	9,019	…	7,371	…	8,401	…	8,481
くるみ	トン	…	56,389	…	52,236	…	56,478	…	67,581	…	53,991
たけのこ	トン	…	167,868	…	157,296	…	142,544	…	149,778	…	153,619
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	3	19	7	10	4	9	5	11	5	10
生うるし	kg	…	35,879	…	36,254	…	30,165	…	21,910	…	…
つばき油	kl	…	177	…	180	…	220	…	224	…	…
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	1	251	0	215	0	194	0	191	152	159
桐材	m <sup>3</sup>	…	10,750	…	10,099	…	9,726	…	9,871	…	9,813
木炭	トン	442	144,462	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	80,042
竹炭	トン	…	8,744	…	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m <sup>3</sup>	833	476	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	53,679	…	54,183	…	44,499	…	37,584	…	…
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

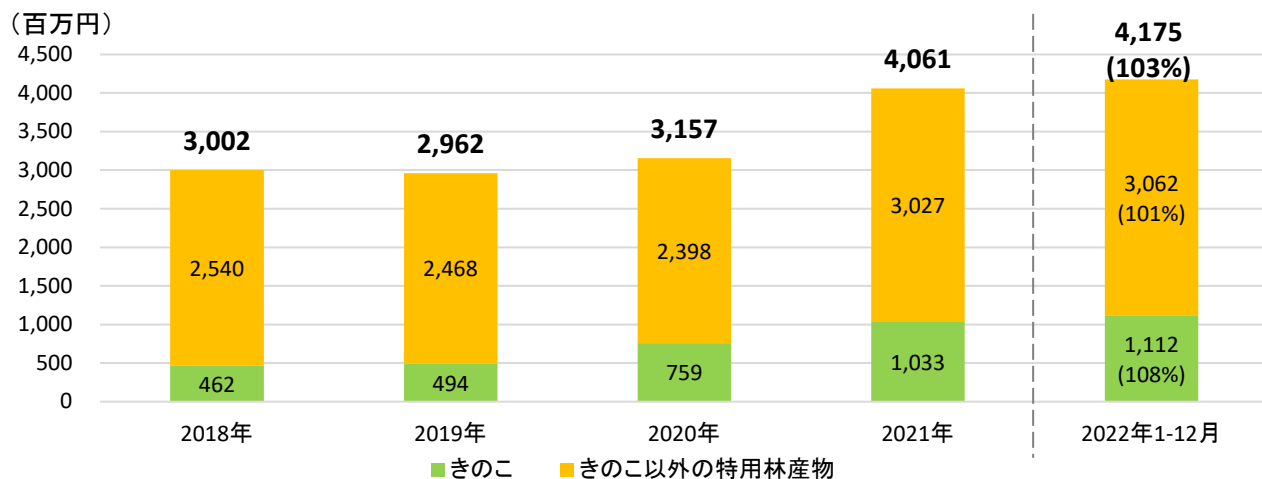
資料：財務省貿易統計

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

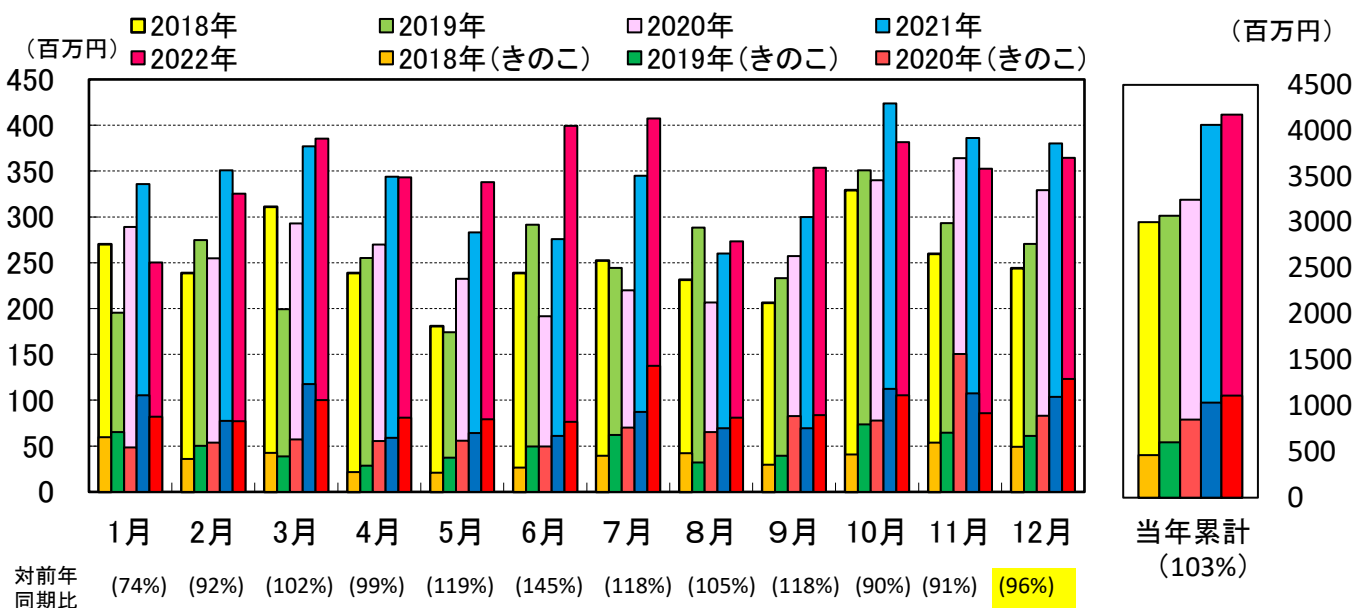
## 特用林産情報-4 特用林産物の輸出額①

- 2022年（1～12月）の特用林産物輸出額は4,175百万円（前年同期比103%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、1,112百万円（対前年比108%）、きのこ以外は、3,062百万円（対前年比101%）となった。
- 12月輸出額は、365百万円（対前年同月比96%）となった。
- 内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は123百万円（対前年同月比119%）、きのこ以外の特用林産物は241百万円（対前年同月比87%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

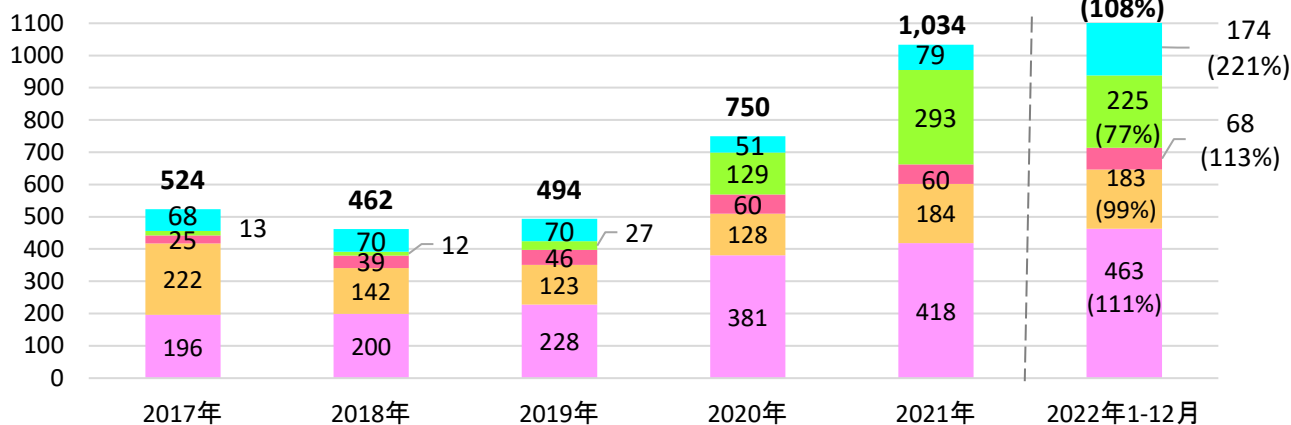
## 特用林産物の輸出額②

- 2022年（1～12月）のきのこの輸出額は1,112百万円で、対前年比108%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年比111%、台湾が99%、シンガポールが113%、米国が77%となっている。
- 2022年の輸出量は1,506トンで、対前年比110%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年比111%、台湾が102%、シンガポールが85%、米国が77%となっている。

○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）

（百万円）

■ 香港 ■ 台湾 ■ シンガポール ■ 米国 ■ その他



資料：財務省貿易統計

※( )は対前年同期比

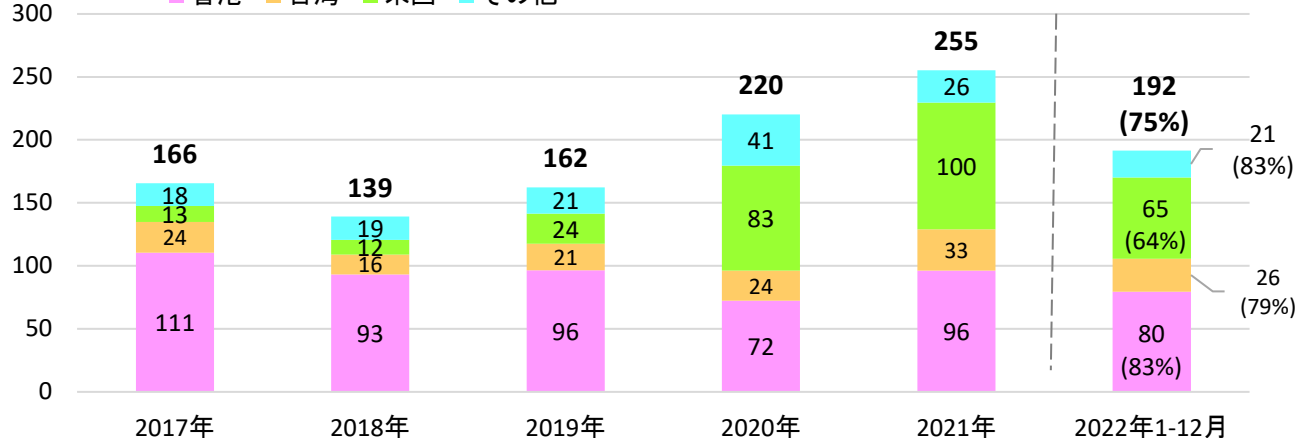
※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2022年（1～12月）の乾しいたけの輸出額は192百万円で、対前年比75%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年比83%、台湾は79%、米国は64%となっている。
- 2022年の輸出量は36トンで、対前年比89%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年比73%、台湾が73%、米国が105%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）

（百万円）

■ 香港 ■ 台湾 ■ 米国 ■ その他



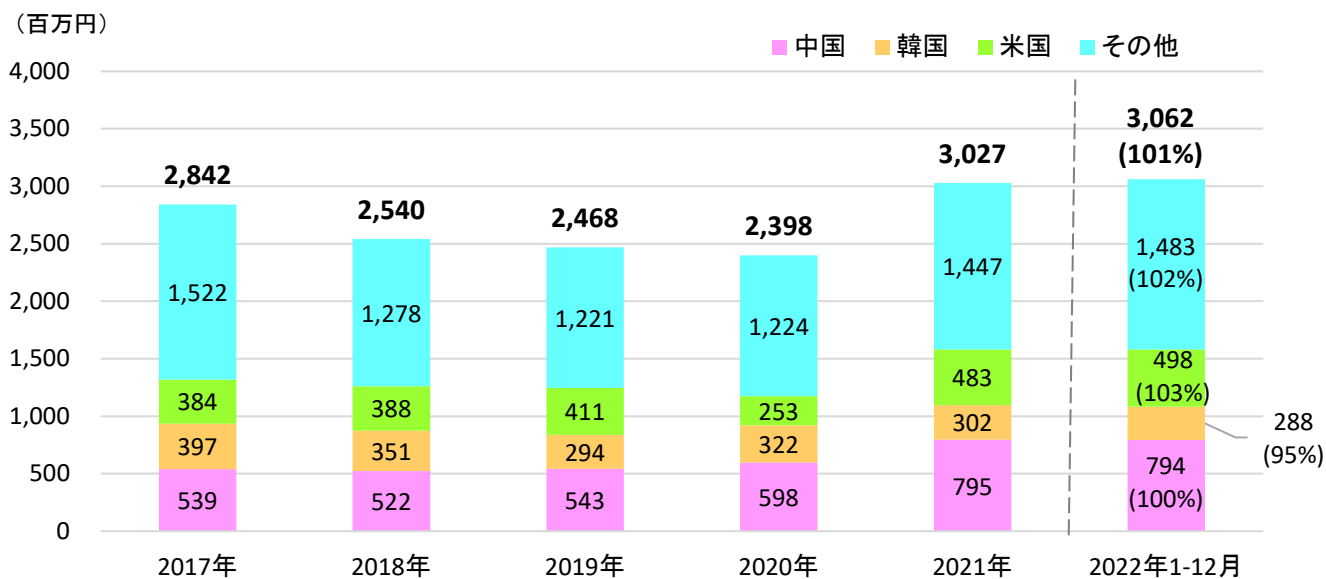
資料：財務省貿易統計

※( )は対前年同期比

## 特用林産情報-4 特用林産物の輸出額③

- 2022年（1～12月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は3,062百万円で、対前年比101%となっている。国別には、中国が対前年比100%、韓国が95%、米国が103%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年比102%、植物性ろうが99%、テルペン油が133%となっている。
- 2022年の輸出量は2,662トンで、対前年比91%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年比92%、韓国が73%、米国が87%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

※( )は対前年同期比

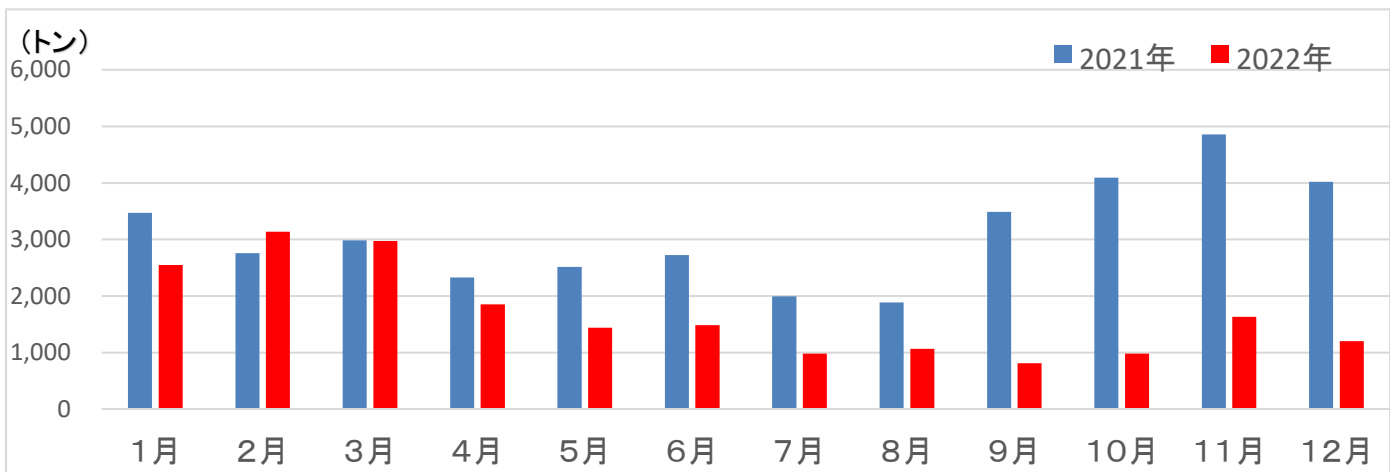
## 特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあるが、2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 2022年の月別の輸入量について前年と比較すると、4月以降の輸入量に減少が見られ、直近の12月には、前年の4,022トンから1,199トン（対前年同期比30.0%）へと大幅に減少。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199



資料：財務省貿易統計



- 2023年1月のきのこの卸売数量は、7,413トン（対前年同月比152.4%）となった。
- 2023年1月のきのこの卸売総額は、4,204百万円（対前年比173.1%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2022年 1月	2022 8月	2022 9月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月
生しいたけ	48,466	47,744	47,222	1,088	1,144	1,315	1,669	1,766	2,067	1,541
なめこ	16,889	16,285	16,865	291	456	497	522	484	521	468
えのきだけ	98,312	99,571	99,656	2,290	2,462	3,233	3,956	3,762	4,435	3,374
しめじ	62,573	62,049	62,459	1,196	1,864	2,295	2,505	2,188	2,431	2,030
合計	226,240	225,649	226,202	4,865	5,926	7,340	8,652	8,200	9,454	7,413

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2022年 1月	2022 8月	2022 9月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月
生しいたけ	43,781	41,270	41,300	1,123	947	1,260	1,717	1,748	2,402	1,766
なめこ	7,431	7,032	7,321	130	183	229	258	243	241	223
えのきだけ	26,245	23,267	23,288	627	356	742	1,039	1,125	1,480	1,247
しめじ	28,688	25,099	25,300	548	456	808	1,108	1,075	1,126	969
合計	106,144	96,668	97,209	2,428	1,942	3,040	4,121	4,190	5,249	4,204

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2022年 1月	2022 8月	2022 9月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月
生しいたけ	903	864	875	1,032	827	958	1,029	990	1,162	1,146
なめこ	440	432	434	448	401	461	493	502	463	476
えのきだけ	267	234	234	274	145	230	263	299	334	370
しめじ	458	404	405	458	245	352	442	491	463	477

## セミナー・イベント情報

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

### ■ 2月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第8回 木育・森育楽会	2月19日(日) 、23日(木・祝)	オンライン	「木育の知と経験」を集積、再分配、配信するための木育に関心のある方々の集会として、「木育・森育楽会」が開催されます。 主催：木育・森育学会実行委員会 NPO法人木育・木づかいネット 事前申込：要 詳細： <a href="https://www.mokumori-gakkai.org/">https://www.mokumori-gakkai.org/</a>
「緑の雇用」事業 創設20周年 シンポジウム	2月21日(火)	オンライン	「緑の雇用」事業の創設20周年を迎えるにあたり、これまでの事業の振り返りや今後の展望を見据えたシンポジウムを開催します。 主催：全国森林組合連合会 事前申込：要 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.ringyou.net/20th/form/">https://www.ringyou.net/20th/form/</a>
森林の仕事 エリア ガイダンス (宮崎県)	2月25日(土)	JA・AZM ホール 別館3階	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を対象に実施する説明会・相談会です。 主催：(公社)宮崎県林業労働機械化センター 事前申込：不要 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.ringyou.net/area_guidance/">https://www.ringyou.net/area_guidance/</a>
日本木材学会 2022年度産学官 連携シンポジウム 「木材利用の観点 から中高層木造を 考える」	2月27日(月)	東京大学 農学部中島 ホール (オンライン 併用)	中高層木造建築物に関する現状の取り組みを産学官それぞれの立場から紹介します。 主催：(一社)日本木材学会 事前申込：要 参加費：8,000円 (日本木材学会会員は4,000円。学生は無料) 振込期限は2月22日(水)まで 詳細： <a href="https://sites.google.com/go.tuat.ac.jp/first-iag-ws2022">https://sites.google.com/go.tuat.ac.jp/first-iag-ws2022</a>
森林サービス産業 フォーラム2023	2月28日(火)	砂防会館 会議室 「木曾」 (オンライン 併用)	「森林サービス産業」モデル事業の成果や健康保険組合との連携事例等について報告します。 主催：「森林サービス産業」フォーラム 実行委員会 事前申込：要 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.green.or.jp/event/fs_forum2023/">https://www.green.or.jp/event/fs_forum2023/</a>

## セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
「二国間クレジット制度を利用した途上国における森林保全・植林プロジェクトの新規案件形成に向けた現地調査」成果報告会	2月28日(火)	オンライン (ZOOM)	<p>二国間クレジット制度(JCM)を利用した途上国における森林保全・植林プロジェクトの新規案件形成に向けた現地調査として、今年度実施した2件(モザンビーク及びフィリピン)の成果を報告します。</p> <p>主催：三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング(株)            事前申込：要(下記URLより)  <a href="https://zoom.us/webinar/register/WN_Htf9eu3XSxi20-t3pKwWmw">https://zoom.us/webinar/register/WN_Htf9eu3XSxi20-t3pKwWmw</a>            参加費：無料            詳細：  <a href="https://www.murc.jp/information/seminar/w230228-3/">https://www.murc.jp/information/seminar/w230228-3/</a></p>
建築・建材展 2023	2月28日(火) ～3月3日(金)	東京国際 展示場「ビッグサイト」 東展示棟 (オンライン 展も開催)	<p>安心・安全で快適な住環境、商環境の実現に不可欠な各種建材及び関連設備機器などを一堂に集め展示します。</p> <p>主催：(株)日本経済新聞社            参加費：3,000円            (ウェブサイトからの事前登録で無料)            詳細：  <a href="https://messe.nikkei.co.jp/ac/info.html">https://messe.nikkei.co.jp/ac/info.html</a></p>
途上国で生きる木材資源利用～SDGs・防災・エネルギーが課題の今、ニーズある日本の技術!	3月2日(木)	オンライン (ZOOM)	<p>民間企業から、カンボジアの森林保全に資する日本の燃料製造技術や、インドネシアの住民植林木を活用した日本の木造建築技術などについて、各事業での経験や課題を報告・議論します。</p> <p>主催：(広財)国際緑化推進センター            事前申込：要            参加費：無料            詳細：  <a href="https://jifpro.or.jp/infomation/11121/">https://jifpro.or.jp/infomation/11121/</a></p>
途上国森づくりワークス 一植えるを視える化ー 2022年度の取り組み紹介	3月8日(水)	オンライン (ZOOM)	<p>途上国における、民間企業による植林活動事例や森林づくり活動貢献可視化事例(ケニアやモンゴル)について紹介します。</p> <p>主催：(広財)国際緑化推進センター            事前申込：要            参加費：無料            詳細：  <a href="https://jifpro.or.jp/infomation/11164/">https://jifpro.or.jp/infomation/11164/</a></p>

## セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
<p>森林クレジットの今がわかる！</p> <p>～J-クレジット制度活用促進セミナー～</p>	3月8日(水)	オンライン (Teams)	<p>森林クレジットを作ったり、売ったりするにはどうすればいいの？そんな疑問にお答えします。J-クレジット制度における森林クレジットの創出・販売の先進事例、新たに作成されたハンドブックの紹介など、さらなる活用促進に向けたヒントや情報が満載のセミナーを開催します。</p> <p>主催：林野庁 事前申込：要 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html#38">https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html#38</a></p>
<p>第73回 日本木材学会大会 公開シンポジウム</p> <p>「森林と木材が拓くネガティブエミッションの新世界」</p>	3月15日(水)	九州大学 医学部 百年講堂 大ホール	<p>森林科学、木質科学や都市木造化の異なる立場からそれぞれの最新知見や取組事例を紹介しします。</p> <p>主催：(一社)日本木材学会 事前申込：不要 参加費：無料 詳細： <a href="https://www.jwrs.org/wood2023/%E3%81%9D%E3%81%AE%E4%BB%96%E3%81%AE%E8%B3%87%E6%96%99/sympo.pdf">https://www.jwrs.org/wood2023/%E3%81%9D%E3%81%AE%E4%BB%96%E3%81%AE%E8%B3%87%E6%96%99/sympo.pdf</a></p>
<p>林野庁×日比谷カレッジ これからの森林。可能性は、無限大。</p> <p>～国民参加の森林づくり、建築物の木造化、森林と健康～</p>	3月24日(金)	日比谷 図書文化館 地下1階 コンベンションホール (大ホール)	<p>森林や木材利用がもたらす効果について、森の楽しみ方や科学的知見も交えて解説する講座を開催します。</p> <p>主催：千代田区立日比谷図書文化館 事前申込：要 参加費：1,000円 詳細： <a href="https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/infoevents/hibiyacollege/">https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/infoevents/hibiyacollege/</a></p>
<p>～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～ 雨谷麻世 環境チャリティコンサート vol. 83～87</p>	4月20日(木) 7月26日(水) 9月15日(金) 10月3日(火) 12月20日(水)	王子ホール、 戸塚区民文化センター さくらプラザ、 神田明神  ほか	<p>歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。</p> <p>主催：(特非)太陽の会 (公社)国土緑化推進機構 チケット取扱い：e+ (イープラス) <a href="http://eplus.jp">http://eplus.jp</a></p> <p>詳細： <a href="https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/">https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/</a></p>
<p>理想のすまいと建築フェア</p>	6月8日(木) ～9日(金)	インテックス 大阪	<p>建築材料及び住宅設備に関する機器・技術を総合的に展示し、広く住宅・非住宅関連の最新情報を提供します。</p> <p>主催：(一社)日本建築材料協会 日本経済新聞社、テレビ大阪 事前申込：要 入場料：無料 詳細：<a href="http://ken-ten.jp/">http://ken-ten.jp/</a></p>

お知らせ

# ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

## 【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD ▲ CHANGE

WOOD ▲ CHANGE



## 【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)



林業信用保証では

# 事業承継のための資金繰り

を支援しています！

(独)農林漁業信用基金の林業信用保証では、事業承継を行う林業・木材産業事業者を支援する保証メニューを設けています。

自社の株式や事業用資産を買い取るための資金、運転資金等の調達にご利用できます。

## 事業承継支援保証のポイント

- ① 最大で**5年間保証料が免除**されます
- ② 実質**無保証人**でご利用できます
- ③ **人(経営)、資産**又は**知的資産**の承継を伴うものが対象です

※保証ご利用にあたっては、一定の財務要件を満たす必要があります。

その他の詳しい要件は、当基金HPをご覧ください。か、当基金窓口までお問い合わせ下さい。

事業承継支援保証に関する情報はこちら⇒



独立行政法人農林漁業信用基金

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階

TEL:03-3434-7825

